PENTAX

デジタルカメラ

Optio E70

使用説明書

acdsee™

カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio E70をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、OptioおよびオプティオはHOYA株式会社の登録商標です。
SDHCロゴは商標です。
本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
 ACDSee および ACDSee ロゴは、カナダ、米国、欧州連合、日本、またはその他の裁判管轄地域における ACD Systems Ltd. の商標です。
Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。
本書ではSDメモリーカードならびにSDHCメモリーカードのことをSDメモリーカードと表現しています。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

警告　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

注意　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

- カメラを分解・改造などしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止して電池を取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ **注意**

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

電池の取り扱いについてのご注意

- このカメラは、単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケル水素電池のいずれか2本を使用します。これら以外の電池は使用しないでください。カメラの性能が十分に発揮できない場合や、電池の破裂、発火の原因となることがあります。
- 単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池は充電ができません。また電池は分解しないでください。無理に充電や分解をすると、破裂や液漏れの原因となります。
- 電池を交換するときは、メーカー、種類、容量の異なる電池を混ぜて入れないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。

- 電池の「+」と「−」の向きを間違えて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。

ACアダプターについて

警告

- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。

注意

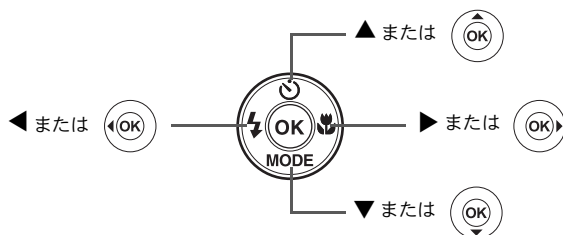
- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水ではありませんので、雨水などが直接かかるところでは使用できません。
- 破損や故障の原因となりますので、強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動からは、クッションに包むなどして保護してください。万が一、強い振動・ショック・圧力などが加わってしまったら、当社のサービス窓口に点検にお出しください。
- カメラの使用温度範囲は0～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。

- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.33）をご覧ください。
- SDメモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、カメラやパソコン等の機能による消去やフォーマットを行っても、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理は、お客様の責任において行ってください。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり画像モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

本書では、十字キーの操作を次のように表記しています。

操作説明中で使用されている表記の意味は次のとおりです。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
📷モード	静止画と動画の撮影をするモードです。本書では、静止画を撮影するモードを「静止画撮影モード」、動画を撮影するモードを「🎥モード」と表記します。
▶モード	静止画と動画を再生するモードです。

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作を説明しています。撮影をはじめる前に必ずお読みになり、操作をしてください。

2 機能共通操作

各ボタンの機能やメニューの設定方法など、各機能に共通する操作を説明しています。詳しい内容は、3章以降をご覧ください。

3 撮影

さまざまな撮影方法や、撮影に関する機能の設定方法を説明しています。

4 画像の再生と消去

静止画や動画をカメラやテレビで再生する方法とカメラから消去する方法を説明しています。

5 画像の編集と印刷

撮影した静止画の印刷や、カメラでの編集方法を説明しています。撮影した画像のパソコンへの保存方法と付属ソフトウェアのインストール方法については7章を、パソコンでの画像の加工や印刷方法については付属ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

6 設定

カメラの機能の設定方法を説明しています。

7 パソコンと接続する

カメラのパソコンへのつなぎ方や、付属ソフトウェアS-SW87のインストール方法を説明しています。

8 付録

困ったときの対処方法や、別売品のご紹介などをしています。

1
2
3
4
5
6
7
8

このカメラの楽しみ方

Optio E70では、一般的な写真撮影のほか、いろいろなシーンに応じたバリエーションに富んだ撮影方法がお楽しみいただけます。ここでは、Optio E70の特長的な楽しみ方をご紹介します。操作説明のページもあわせてご覧いただき、ぜひOptio E70の楽しさを味わってください。

動画撮影の機能が充実！

Optio E70では、手ぶれ補正機能を使って動画撮影時のぶれを補正することができます（p.97）。

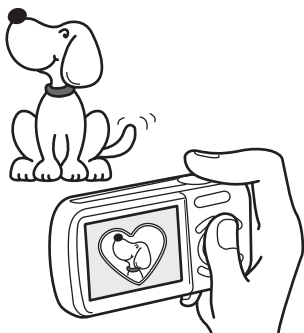
- **お子様やペットの成長記録に、躍動感あふれる動画撮影を（p.94）。**

人物撮影が得意！

Optio E70は、人物の顔を認識してピントや露出を合わせる「顔検出」機能を搭載。最大で32人の顔を認識（※）するので、集合写真もキレイに撮影できます。また、人物が笑顔になったら自動的にシャッターを切ったり、まばたきしたことをお知らせすることもできるので、ベストショットがたくさん撮れます。さらに再生時には、人物の顔を順に拡大して再生できるので、表情の確認も簡単です。

※ 画面上に表示できる顔検出枠は、最大15個です。

- **人物の顔を認識する顔検出機能（p.61）。**
- **人物をキレイに撮影する様々な撮影モード（p.72）。**
- **みんなの顔が確認しやすい顔アップ再生（p.112）。**

いろいろなフレームと合成して撮れる！

Optio E70では、撮影時にたくさんの種類からお好みのフレームを選んで合成することができます（p.77）。撮影した写真にあとからフレームを合成するのも、もちろんOK！フレームの形や大きさに合わせて被写体の位置を微調整したり、写真を縮小・拡大して合成することもできます。フレームと被写体のバランスが微妙に合わない・・・なんていうことはありません（p.137）。

- **フレームを使った記念写真に。**

撮影も再生も、カメラがナビゲートしてくれる！

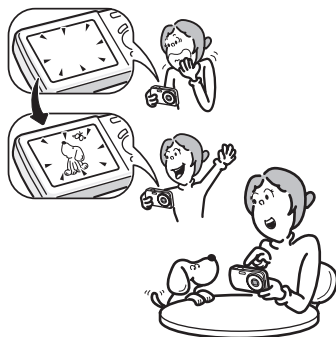
Optio E70は、少ないボタンで操作ができるカンタン設計。いろいろな撮影シーンで最適な設定を選べる「撮影モード」（p.59）も、再生・編集を楽しむための「再生モード」（p.106、p.130）も、わかりやすいアイコンを選ぶだけでOK。各モードの機能や使い方も、画像モニターに表示されるガイドで確認できる親切設計です。

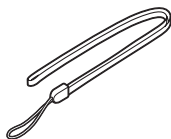
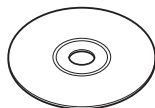
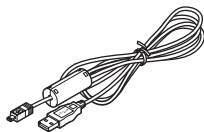
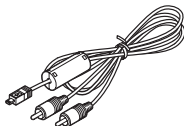
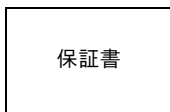
- **モードパレット表示時にモードを選ぶと、ガイドを表示（p.59、p.106）。**
- **グリーンモードを使うと、標準設定で手軽に撮影可能（p.65）。**

カレンダー形式で表示できる！

Optio E70では、撮影した画像を日付ごとにカレンダー形式で表示できます（p.105）。再生したい写真を、すばやく見つけることができます。

パソコンなしでも、カメラの中で楽しめる様々な機能が充実！

Optio E70には、パソコンに接続して画像を転送しなくても、画像の再生や編集などが楽しめる様々な機能が充実。パソコンを起動するのが面倒だな、というときなどでも、これ一台で撮影から画像加工まで楽しめます（p.130）。また、うっかり画像を削除してしまったとき、復活ができるのも、Optio E70ならでは（p.122）。

- **カメラでの画像再生時に、リサイズ（p.130）、トリミング（p.131）、赤目補正（p.136）が可能。**

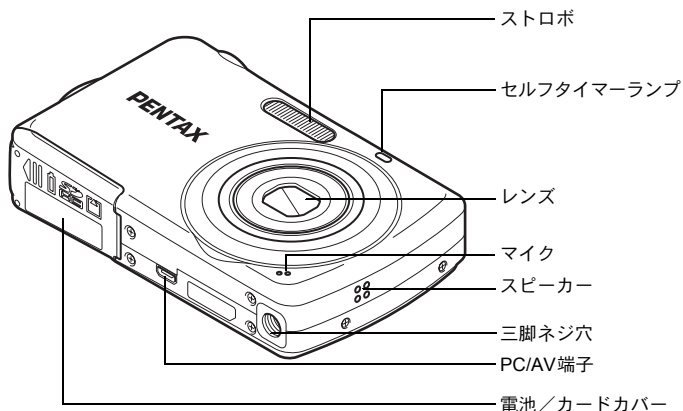
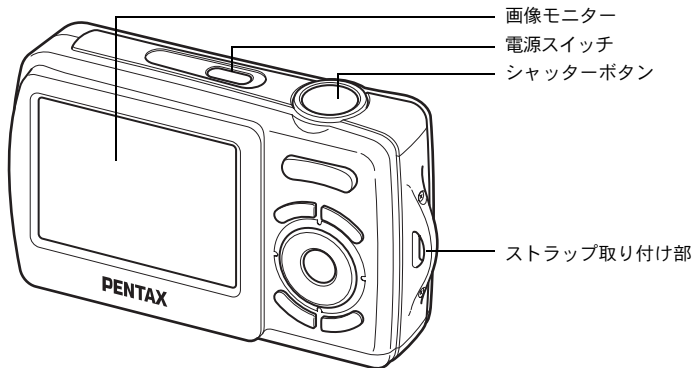
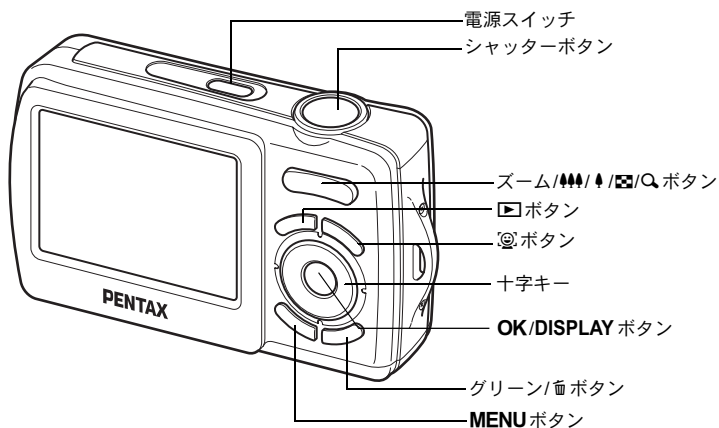
主な同梱品の確認

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.204）をご覧ください。

各部の名称

前面

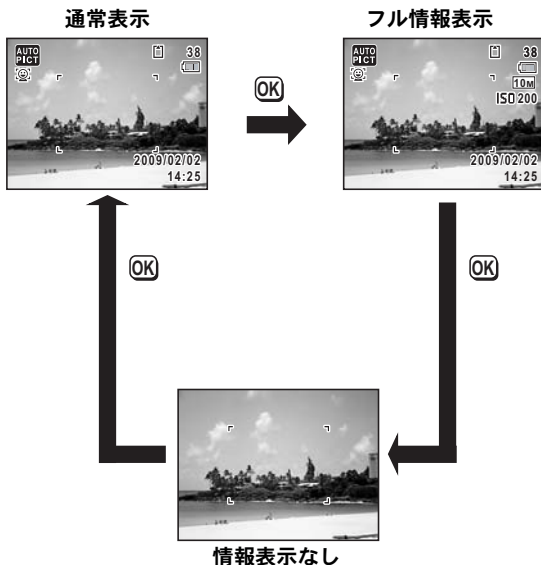
ストロボ
セルフタイマーランプ
レンズ
マイク
スピーカー
三脚ネジ穴
PC/AV端子
電池／カードカバー

背面

画像モニター
電源スイッチ
シャッターボタン
ストラップ取り付け部

操作部の名称

各ボタンの機能は、「ボタンの機能を使用する」（p.44～47）をご覧ください。

画像モニターの表示

モードの表示

撮影時には、撮影条件などが表示されます。**OK**/**DISPLAY** ボタンを押すと、画像モニターの表示が「通常表示」「フル情報表示」「情報表示なし」に切り替わります。

- 手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使った撮影が有効です(p.79)。
- 撮影モードが (グリーン) モードのときは、右のように表示されます。**OK**/**DISPLAY** ボタンを押して表示を切り替えることはできません。

静止画撮影モード　通常表示

1 撮影モード（p.59）
2 顔認識アイコン（p.61）
3 手ぶれ補正表示（p.70）
4 シャッタースピード
5 絞り値
6 ストロボモード（p.84）
7 ドライブモード（p.79、p.80）
8 フォーカスモード（p.86）
9 デジタルズーム／インテリジェントズーム表示（p.67）
10 メモリー状態表示（p.35）
11 撮影可能枚数
12 電池残量表示（p.29）
13 フォーカスフレーム（p.56）
14 現在の日時（p.41）
15 露出補正値（p.90）
16 日付写し込み設定中（p.93）
17 ワールドタイム設定中（p.157）

※ 3は、手ぶれ補正の情報が表示されます。
　：手ぶれ補正がオート設定のとき、シャッターボタンを半押しすると表示されます。
　：手ぶれ補正がオフ設定のとき、常に表示されます。
※ 4・5は、シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます。
※ 8は、フォーカスモードが**AF**に設定されているときにオートマクロ機能が作動するとが表示されます（p.86）。
※ 撮影モードによっては表示されない情報もあります。

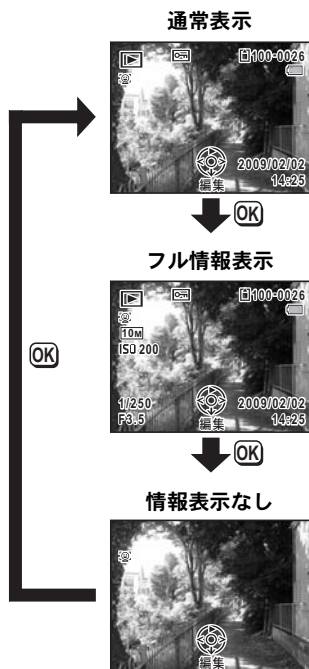
静止画撮影モード　フル情報表示／情報表示なし

「フル情報表示」ではA1～A14・B1が表示されます。「情報表示なし」ではB1のみ表示されます。

A1　撮影モード（p.59）
A2　顔認識アイコン（p.61）
A3　手ぶれ補正表示（p.70）
A4　ストロボモード（p.84）
A5　ドライブモード（p.79、p.80）
A6　フォーカスモード（p.86）
A7　デジタルズーム／インテリジェントズーム表示（p.67）
A8　メモリー状態表示（p.35）
A9　撮影可能枚数
A10 電池残量表示（p.29）
A11 記録サイズ（p.88）
A12 感度（p.91）
A13 露出補正値（p.90）
A14 日付写し込み設定中（p.93）
B1　フォーカスフレーム（p.56）
B2　シャッタースピード
B3　絞り値

※ A3は、手ぶれ補正の情報が表示されます。
:手ぶれ補正がオート設定のとき、シャッターボタンを半押しすると表示されます。
:手ぶれ補正がオフ設定のとき、常に表示されます。
※ B2・B3は、シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます。
※ 撮影モードが （オートピクチャー）のときは「情報表示なし」でも、シャッターボタンを半押しすると、A1の位置に選択されたモードが表示されます（p.63）。
※ 撮影モードによっては表示されない情報もあります。

▶モードの表示

▶モード時には、撮影したときの画像の情報が表示されます。**OK/DISPLAY**ボタンを押すと、表示が切り替わります。

静止画再生モード　通常表示／フル情報表示
（説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。）

撮影条件などを表示します。A1～A10は「通常表示」「フル情報表示」のいずれの場合も表示されます。B1～B4は「フル情報表示」のときにのみ表示されます。

A1 再生モード表示
▶：静止画像（p.106）
A2 顔認識アイコン（p.61）
A3 画像プロテクト表示（p.123）
A4 メモリー状態表示（p.35）
A5 フォルダ番号（p.160）
A6 ファイル番号
A7 電池残量表示（p.29）
A8 音量表示
A9 撮影日時（p.41）
A10 十字キーガイド表示
B1 記録サイズ（p.88）
B2 感度（p.91）
B3 シャッタースピード
B4 絞り値

※ A2は、撮影時に顔認識した場合のみ表示されます
※ A7・A9は、通常表示時に2秒間何もボタン操作をしないと消えます。
※ A8は、動画再生中に音量調節をしているときのみ表示されます(p.103)。
※ A10は「情報表示なし」時でも表示されますが、2秒間何もボタン操作をしないと消えます。また「通常表示」「フル情報表示」時に2秒間何もボタン操作をしないと、「編集」の文字のみ消えます。

ガイド表示

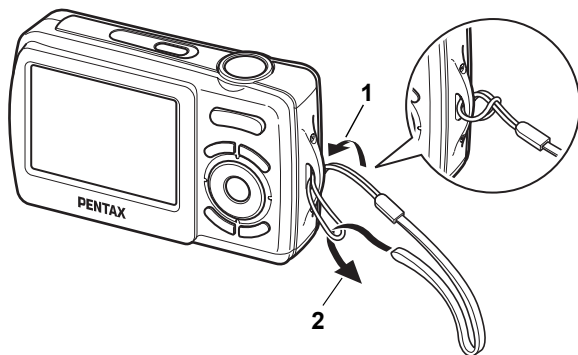
操作中は、画像モニターにボタン操作のガイドが次のように表示されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU

ズームボタン	🔍
OK/DISPLAYボタン	OK
シャッターボタン	SHUTTER
グリーン/🗑ボタン	●／🗑
☺ボタン	☺／☺

1 準備

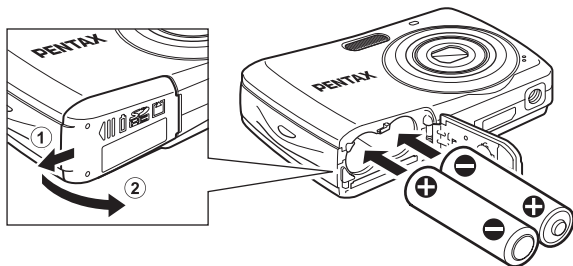
ストラップを取り付ける

付属のストラップ（O-ST51）を取り付けます。

1　ストラップの細いひもの部分を、本体のストラップ取り付け部に通す

2　ストラップの端を細いひもの輪にくぐらせて引き締める

電源を準備する

電池の入れかた

カメラに電池をセットします。電池は単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケル水素電池のいずれかを2本使用します。

1 電池／カードカバーを開ける

電池／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

2 電池の向きを電池室内の＋－表示に合わせて、挿入する

注意 電池は、必ず向きを確認してください。逆向きに挿入すると、カメラの電源が入らないだけでなく、故障の原因にもなります。

3 電池／カードカバーを閉めて、①と逆方向に水平に押し込む

- 単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、電池／カードカバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液もれすることがあります。
- カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、このとき、日時の設定がリセットされることがあります。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。また、電池の電極をよく拭いてから装填してください。
- カメラを長時間連続で使用した場合、本体や電池が熱くなっていることがありますので、ご注意ください。

長時間連続してご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC62J（別売）をご使用ください。（p.29）

静止画撮影可能枚数と動画撮影、再生時間の目安
（単3アルカリ電池使用時・23℃・画像モニター点灯・電池交換時）

静止画撮影可能枚数※1（ストロボ使用率50％）	動画撮影時間※2	再生時間※2
約210枚	約110分	約480分

※1　撮影可能枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA規格抜粋：画像モニターON、ストロボ使用率50％、23℃）

※2　時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。

- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 単3形アルカリ電池は特性上、低温ではカメラの性能を十分に発揮できないことがあります。低温でご使用の際は、単3形リチウム電池や単3形ニッケル水素電池の使用をお勧めします。
- 海外旅行などの長期のおでかけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備電池をご用意ください。

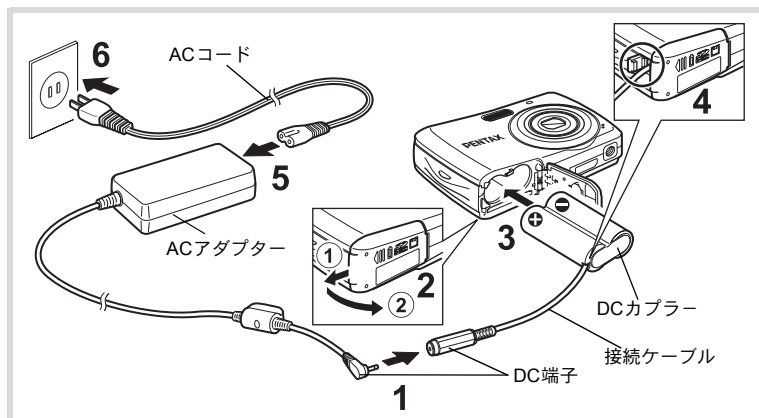
- **電池の残量表示**

画像モニターの表示で、電池の残量が確認できます。

画像モニター表示	電池の状態
（緑）	電池がまだ十分に残っています。
（緑）	少し減っています。
（黄）	だいぶ減っています。
（赤）	残量がほとんどありません。
「電池容量がなくなりました」	メッセージ表示後、電源がオフとなります。

単3形ニッケルマンガン電池は、電池特性の関係で電池残量が正しく表示されないことがあります。残量が少なくなった電池であっても、電池残量表示がになる場合があります。また、表示がのまま、警告なく電源がオフになることがあります。

ご家庭の電源で使うには

長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプターキットK-AC62J （別売）を接続して、家庭用電源でのご使用をおすすめします。
※ACアダプターキットK-AC62Jは、ACアダプター D-AC62、DC カプラー D-DC51、ACコードD-CO2Jのセットです。

1 ACアダプターのDC端子を、DCカプラーのDC入力端子に接続する

2 カメラの電源が切れていることを確認してから、電池／カードカバーを開ける

電池／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

3 DCカプラーの向きを電池室内の＋－表示に合わせて、挿入する

4 DCカプラーの接続ケーブルで接続ケーブルカバーを押し開きながら、電池／カードカバーを閉める

電池／カードカバーは、①と逆方向へ水平に押し込みます。電池／カードカバーが開かないよう、奥までしっかり押し込んでください。

5 ACコードをACアダプターに接続する

6 電源プラグをコンセントに差し込む

注意

- AC アダプターの接続／取り外しは、必ず電源がオフの状態で行ってください。
- AC アダプターと DC カプラーの接続ケーブルはしっかりと差し込んでください。SDメモリーカードまたは内蔵メモリーにデータを記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）、「ACアダプターについて」（p.3）をお読みください。
- ACアダプターをご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC62Jの使用説明書をあわせてご覧ください。

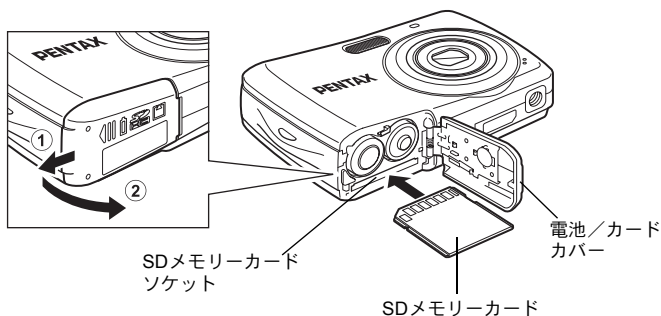
SDメモリーカードをセットする

このカメラでは、SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードが使用できます（本書では総称して「SDメモリーカード」と表記します)。撮影した画像はカメラにセットしたSDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットしていないときは、内蔵メモリーに記録されます（p.35)。

- **未使用または他のカメラやデジタル機器で使用したSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマット（初期化）してからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカードをフォーマットする」（p.152）をご覧ください。**
- SDメモリーカードのセット／取り出しは、必ず電源がオフの状態で行ってください。

- 撮影できる静止画の枚数は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズによって異なります（p.34)。
- SDメモリーカードにアクセス中（データの記録や読み出し中）は、セルフタイマーランプが点滅します。

データバックアップのお勧め

内蔵メモリーに記録されたデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータは、パソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをお勧めします。

1 電池／カードカバーを開ける

電池／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

2 SD メモリーカードのラベル面をカメラの画像モニター側に向け、カメラのSDメモリーカードソケットに挿入する

カードはカチッと音がするまでしっかり押し込んでください。カードがしっかり入っていないと、画像が正常に記録されないことがあります。

3 電池／カードカバーを閉めて、①と逆方向へ水平に押し込む

SDメモリーカードを取り出す

1 電池／カードカバーを開ける

2 SDメモリーカードを中に押し込む

SDメモリーカードが少し飛び出すので、引き抜いてください。

SDメモリーカード使用上の注意

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
  画像モニターには🔒と表示されます。
- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへの画像の記録／再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータを記録／読み出し中にカードを取り出したり、電池を抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップをするようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書き込み速度の遅いSDメモリーカードでは、カードに空き容量があっても動画撮影時に途中で撮影が終了したり、撮影／再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカードをフォーマットする」（p.152）をご覧ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄する際にはメモリーカード本体を物理的に破壊する、譲渡する際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
  メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDメモリーカードに記録できる枚数

撮影した画像の記録サイズなどによって、画像のファイルサイズは異なり、SDメモリーカードに記録できる枚数は異なります。

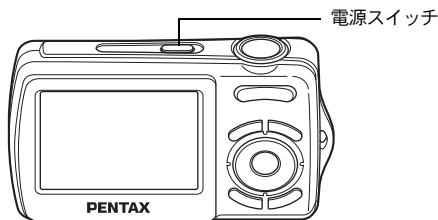
静止画の「記録サイズ」の設定は、「📷撮影」メニューで行います。

記録サイズを選択する ☞p.88

動画の「記録サイズ」の設定は、「📷撮影」メニューの「動画」で行います。

動画の記録サイズを選択する ☞p.96

SDメモリーカードに記録できる撮影可能枚数／時間の目安については、「主な仕様」（p.205）をご覧ください。

電源をオン／オフする

1 電源スイッチを押す

電源がオンになり、画像モニターが点灯します。
電源をオンにすると、レンズバリアが開き、レンズが前に繰り出します。
カメラの電源を入れたときに、「言語設定」あるいは「日時設定」の画面が表示された場合は、p.37の手順に従って設定してください。

2 もう一度電源スイッチを押す

電源がオフになり、画像モニターが消灯してレンズが収納されます。

静止画を撮影する ☞p.56

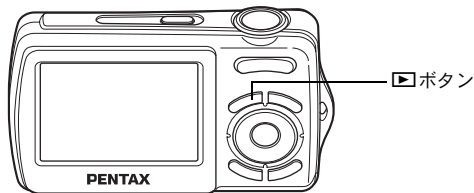
カードチェック

電源をオンにすると、カードチェックが行われ、メモリーの状態が表示されます。

- [SDカードアイコン]：SD メモリーカードがセットされています。画像は、SDメモリーカードに記録されます。
- [内蔵メモリーアイコン]：SD メモリーカードがセットされていません。画像は、内蔵メモリーに記録されます。
- [ロックアイコン]：SD メモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっています（p.33）。画像の記録はできません。

カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、この場合は日時などの設定が初期化されていることがありますので、p.37の手順に従って設定をしなおしてください。

再生起動モード

再生起動モードは、撮影をしないで、すぐに画像を再生したいときに使用します。

1 ▶ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

レンズは収納されたまま画像モニターが点灯し、再生モードで起動します。

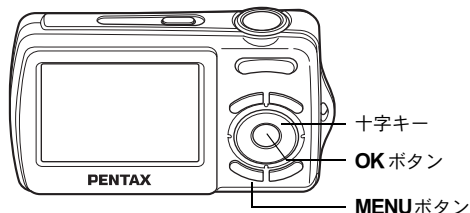
再生モードで起動後に📷モードへ切り替えるときは、▶ボタンを押すかシャッターボタンを半押ししてください。

静止画を再生する ☞p.102

初期設定をする

カメラの電源を入れて「Language/言語」画面が表示されたら、下記の「言語を設定する」の手順で言語を「日本語」に、「日時を設定する」(p.41)の手順で日時を現在の日時に設定してください。

設定した「言語」と「日時」はあとから変更することもできます。操作方法は下記のページをご覧ください。
- 言語を変更したいとき:「表示言語を変更する」(☞p.159)
- 日時を変更したいとき:「日時を変更する」(☞p.154)

言語を設定する

1 十字キー(▲▼◀▶)で「日本語」を選ぶ

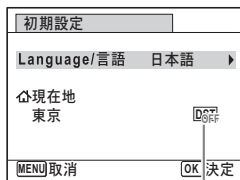
Language/言語

English	日本語	Türkçe
Français	Dansk	Ελληνικά
Deutsch	Svenska	Русский
Español	Suomi	ไทย
Português	Polski	한국어
Italiano	Čeština	中文繁體
Nederlands	Magyar	中文简体

MENU 取消　　OK 決定

2 OKボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。「現在地」が東京、「夏時間」が DST OFF に設定されていたら、もう一度**OK**ボタンを押して「日時設定」画面を表示させます。引き続き、「日時を設定する」（p.41）に進んでください。
それ以外の設定になっていたら、「現在地、夏時間の設定をする」（p.40）の手順3に進んでください。

1
準備

もし誤って日本語以外の言語を選んで次に進んでしまったら、あわてず下記の操作で、日本語の表示に設定し直してください。

●「Language/言語」画面で、日本語以外の言語を選んで OK ボタンを押してしまった！

1 十字キー (▶)を押す

2 十字キー (▲▼◀▶)で「日本語」を選んで、OK ボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。

● 手順2で外国語の設定のまま次の画面を表示させてしまった！

1 OK ボタンを押す

2 MENU ボタンを押す

3 十字キー（▶）を押す

4 十字キー（▼▲）を押して、「Language/言語」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

6 十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ

7 OK ボタンを押す

日本語の「設定」メニューが表示されます。

ここまでの操作で、「Language/言語」の設定が「日本語」に設定し直されました。「現在地」と「日時」を設定し直す必要がある場合は、下記のページをご覧になって、「現在地」を「東京」に、「日時」を現在の日時に設定し直してください。

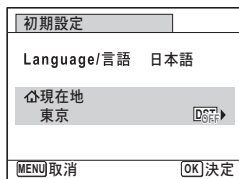
- 現在地を変更したいとき：「ワールドタイムを設定する」（☞p.157）
- 日時を変更したいとき：「日時を変更する」（☞p.154）

現在地と夏時間を設定する

3 十字キー（▼）を押す

選択枠が「現在地」に移動します。

4 十字キー（▶）を押す

「現在地」画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）を押して「東京」を選ぶ

6 十字キー（▼）を押す

選択枠が「夏時間」に移動します。

7 十字キー（◀▶）を押して、□（オフ）に設定する

8 OKボタンを押す

「初期設定」画面が表示されます。

9 OKボタンを押す

「日時設定」画面が表示されます。引き続き、日付と時刻を設定します。

日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付・時刻を設定します。

1 **十字キー（▶）を押す**

選択枠が「年/月/日」に移動します。

2 **十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを選ぶ**

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選択します。

日時設定	
表示スタイル	年/月/日 24h
日付	2009/01/01
時刻	0:00
MENU 取消	OK 決定

3 **十字キー（▶）を押す**

選択枠が「24h」に移動します。

4 **十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を選ぶ**

日時設定	
表示スタイル	年/月/日 24h
日付	2009/01/01
時刻	0:00
MENU 取消	OK 決定

5 **十字キー（▶）を押す**

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

6 **十字キー（▼）を押す**

選択枠が「日付」に移動します。

7 **十字キー（▶）を押す**

選択枠が「西暦年」に移動します。

日時設定	
表示スタイル	年/月/日 24h
日付	▶2009/01/01
時刻	0:00
MENU 取消	OK 決定

8 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻を設定します。
手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

日時設定
表示スタイル　年/月/日 24h
日付　2009/01/01
時刻　0:00
MENU取消　OK決定

9 OK ボタンを押す

日時が確定し、撮影できる状態になります。

設定した「言語」「日時」「現在地」「夏時間」はあとから変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。

- 言語を変更したいとき：「表示言語を変更する」（☞p.159）
- 日時を変更したいとき：「日時を変更する」（☞p.154）
- 現在地、夏時間のオン／オフを変更したいとき：「ワールドタイムを設定する」（☞p.157）

初期設定の途中で**MENU** ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。

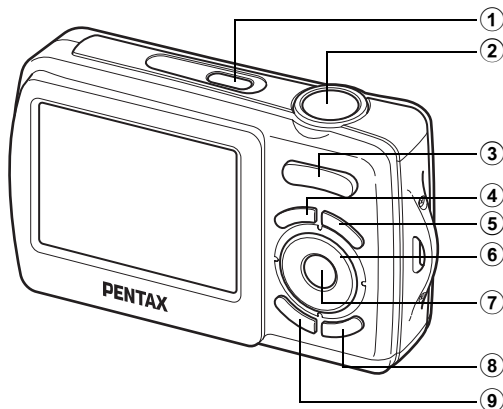
手順9で**OK** ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK** ボタンを押すと、秒単位まで正確に日時が設定できます。

初期設定で「現在地」を変更すると、ビデオ出力方式（NTSC／PAL）が選んだ都市の方式に自動的に設定されます。設定されるビデオ出力方式と、初期設定後の変更のしかたについては下記のページをご覧ください。

- 初期設定で設定されるビデオ出力方式：「都市名一覧」（☞p.203）
- 初期設定後にビデオ出力方式を変更する：「ビデオ出力方式を選択する」(☞p.162)

2 機能共通操作

ボタンの機能を使用する

モード時

① **電源スイッチ**
電源をオフにします（p.35）。

② **シャッターボタン**
静止画撮影モードでは、半押しするとピント合わせを行います（フォーカスモードが、**PF**／▲のときを除く）（p.57）。全押しすると、静止画を撮影します（p.57）。
（動画）モードでは、動画の撮影を開始／終了します（p.94）。

③ **ズーム/ / ボタン**
撮影する範囲を変えます（p.67）。

④ **ボタン**
モードに切り替えます（p.48）。

⑤ **ボタン**
顔検出機能（p.61）を切り替えます。ボタンを押すたびに、スマイルキャッチ→顔認識オフ→顔認識オンと切り替わります。

⑥ 十字キー

（▲）　ドライブモードを切り替えます（p.79、p.80）。
（▼）　撮影モードパレットを表示します（p.59）。
（◀）　ストロボモードを切り替えます（p.84）。
（▶）　フォーカスモードを切り替えます（p.86）。

⑦ OK/DISPLAYボタン

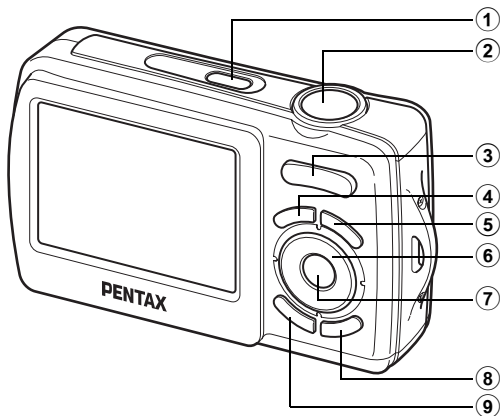
画像モニターに表示される情報を切り替えます（p.18）。

⑧ グリーンボタン

（グリーン）モードに移行します（p.65）。

⑨ MENUボタン

「撮影」メニューを表示します（p.49）。

▶モード時

① **電源スイッチ**
電源をオフにします（p.35）。

② **シャッターボタン**
📷モードに切り替えます（p.48）。

③ **ズーム/⊞/Q ボタン**
1画面表示時に⊞を押すと4画面表示に、もう一度押すと9画面表示になります。Qを押すと前の表示に戻ります（p.104）。
1画面表示時にQを押すと画像が拡大表示されます。⊞を押すと前の表示に戻ります（p.111）。
9画面表示時に⊞を押すと、フォルダ表示またはカレンダー表示になります（p.105）。
フォルダ表示時にQを押すと、通常の9画面表示になります（p.105）。
カレンダー表示時にQを押すと、通常の9画面表示になります（p.105）。
動画再生中は、音量調節をします（p.103）。

④ **▶ボタン**
📷モードに切り替えます（p.48）。

⑤ 顔アイコンボタン

撮影時に顔認識が行われた画像を表示しているときに押すと、顔認識された順に、被写体の顔をクローズアップ表示（顔アップ再生）します（p.112）。

⑥ 十字キー

（▲）	動画を再生／一時停止します（p.103）。
（▼）	再生モードパレットを表示します（p.107）。 再生中の動画を停止します（p.103）。
（◀ ▶）	1画面表示時は、前後の画像を表示します（p.102）。 動画再生時は、コマ送り／コマ戻し／逆方向再生／順方向再生／早戻し再生／早送り再生をします（p.103）。
（▲ ▼ ◀ ▶）	拡大表示時は、表示範囲を移動します（p.111）。 4画面／9画面表示は画像、フォルダ表示はフォルダ、カレンダー表示時は日付を選択します（p.104、p.105）。 フレーム合成時は、画像の位置を調整します（p.137）。

⑦ OK/DISPLAYボタン

画像モニターに表示される情報を切り替えます（p.18）。
拡大表示／4画面／9画面表示時は、1画面表示に戻ります（p.104、p.111）。
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります（p.105）。
カレンダー表示時は、選択日付の1画面表示に変わります（p.105）。

⑧ グリーン/🗑ボタン

1画面表示時は、消去画面に移行します（p.119）。
4画面／9画面表示時は、選択消去画面に移行します（p.120）。
フォルダ表示時は、カレンダー表示画面に移行します（p.105）。
カレンダー表示時は、フォルダ表示画面に移行します（p.105）。

⑨ MENUボタン

1画面表示時は、「🔧設定」メニューを表示します（p.49）。
再生モードパレット表示時は、1画面表示に戻ります（p.106）。
拡大表示／4画面／9画面表示時は、1画面表示に戻ります（p.104）。
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります（p.105）。
カレンダー表示時は、選択日付の9画面表示に変わります（p.105）。

📷モードと▶モードの切り替え

本書では、静止画の撮影など記録を行うモードを「📷モード」（撮影モード）と表記します。また、撮影して記録した画像を画像モニターに表示するなど再生を行うモードを「▶モード」（再生モード）と表記します。▶モードでは、再生した画像に簡単な画像処理を加えることもできます。
📷モードと▶モードの切り替えは、次のように行います。

📷モードから▶モードへ切り替える

1　▶ボタンを押す

▶モードに切り替わります。

▶モードから📷モードへ切り替える

1　▶ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

📷モードに切り替わります。

内蔵メモリー内のデータの表示について

SDメモリーカードがセットされているときは、SDメモリーカード内の画像／動画が表示されます。内蔵メモリー内の画像／動画を表示する場合は、SDメモリーカードを取り出すか、以下の方法で「内蔵メモリー参照」機能を利用してください。

SDメモリーカードは、必ず電源がオフの状態で取り出してください。

- **[SDメモリーカードを入れたままで、内蔵メモリー内の画像を見る(内蔵メモリー参照)]**
  - 📷モードあるいはメニュー表示中に▶ボタンを1.2秒以上押し続けるとレンズが収納され、「内蔵メモリーに記録された画像を表示します」のメッセージのあと、内蔵メモリー内の画像／動画が表示されます。
  - 内蔵メモリー参照では、静止画再生（拡大表示も含む）（p.102、p.111）、動画再生（p.103）、4分割表示／9分割表示／フォルダ表示／カレンダー表示（p.104）を行うことができます。
  - 内蔵メモリー参照では、データの消去／選択消去／再生モードパレットの表示／メニューの表示はできません。内蔵メモリー内の画像／動画にこれらの操作を行う場合は、SDメモリーカードを取り出してから操作してください。

カメラの機能を設定する

カメラの設定を変更するときは、**MENU**ボタンを押して、「撮影」メニューまたは「設定」メニューを呼び出します。また、画像の再生／編集に関するメニューは、再生モードパレットから呼び出します。

メニューの操作のしかた

モードで**MENU**ボタンを押すと、「撮影」メニューが表示されます。モードで**MENU**ボタンを押すと、「設定」メニューが表示されます。
「撮影」メニューと「設定」メニューは、十字キー（◀▶）で切り替えることができます。

撮影中

AUTO PICT 38 2009/02/02 14:25

再生中

100-0038 2009/02/02 14:25 編集

MENU

MENU

撮影 1/2
手ぶれ補正 オート
記録サイズ 10M
AFエリア
感度 オート
露出補正 ±0.0
動画
MENU 終了

OK

OK

設定 1/3
サウンド
日時設定 2009/02/02
ワールドタイム
Language/言語 日本語
フォルダ名 日付
USB接続 PC
MENU 終了

OK OK OK OK

撮影 1/2
手ぶれ補正 オート
記録サイズ 10M
AFエリア
感度 オート
露出補正 ±0.0
動画
MENU 終了

設定 1/3
サウンド
日時設定 2009/02/02
ワールドタイム
Language/言語 日本語
フォルダ名 日付
USB接続 PC
MENU 終了

SHUTTER
ボタン半押し

MENU 、OK または ▶

AUTO PICT 38 2009/02/02 14:25

設定を終了して
📷モードへ

100-0038 2009/02/02 14:25 編集

設定を終了して
▶モードへ

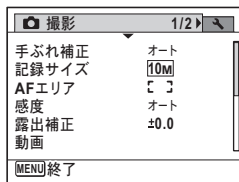
メニュー操作中は、使用するボタンやキーの機能が画像モニターに表示されます。

例）「📷撮影」メニューの「AFエリア」の設定をする

1 📷モードでMENUボタンを押す

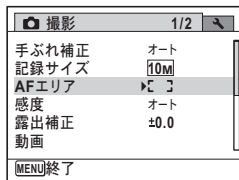
「📷撮影」メニューが表示されます。

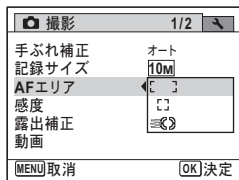
2 十字キー（▼）を押す

選択枠が「手ぶれ補正」に移動します。

3 十字キー（▼）を押す

選択枠が「AFエリア」に移動します。

4 十字キー（▶）を押す

選べる内容がポップアップで表示されます。
ポップアップには、現在のカメラの条件で選択できる設定が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で設定を切り替える

十字キー（▲▼）を押すたびに、AFエリアが切り替わります。

6 OKボタンまたは十字キー（◀）を押す

設定が保存され、他の項目が設定できる状態になります。
設定を終了するときは、**MENU**ボタンを押します。

その他の操作をする場合は、手順6で次ページの操作をしてください。

設定を保存して撮影をしたいとき

6 シャッターボタンを半押しする

設定が保存され、撮影できる状態になります。
全押しすると、写真が撮影されます。

メモ ▶モードから「🔧設定」メニューを表示した場合は、▶ボタンを押して📷モードに移行することもできます。

設定を保存して再生をしたいとき

6 ▶ボタンを押す

📷モードから「📷撮影」メニューを表示した場合は、設定が保存され、再生できる状態になります。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

6 MENUボタンを押す

変更が取り消され、手順3に戻ります。

メモ MENUボタンの機能は、画面の状態によって異なります。ガイド表示を参照してください。

- MENU 終了 ：メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。
- MENU ⮌ ：現在の設定のまま、ひとつ前の画面に戻ります。
- MENU 取消 ：現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、ひとつ前の画面に戻ります。

メニュー一覧

メニュー画面で設定できる項目とその内容を示します。カメラの電源をオフにしたとき設定を維持するかどうか、リセットしたときに初期設定に戻るかどうかは、付録の「初期設定一覧」（p.199）をご覧ください。

「◘撮影」メニュー

撮影に関するメニューです。

項目		内容	参照
手ぶれ補正		静止画の手ぶれ補正を使うかどうかを設定します。	p.70
記録サイズ		静止画像の記録サイズを選びます。	p.88
AFエリア		オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。	p.87
感度		感度を設定します。	p.91
露出補正		撮影する画像全体の明るさを調整します。	p.90
動画	記録サイズ	動画の記録サイズを選びます。	p.96
	Movie SR	手ぶれ補正を使うかどうかを設定します。	p.97
まばたき検出		顔認識したときに、まばたき検出を行うかどうか設定します。	p.92
デジタルズーム		デジタルズームを使うかどうかを設定します。	p.68
モードメモリ		電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリーするか、初期設定に戻すかを設定します。	p.98
日付写し込み		静止画撮影時に日付と時刻の写し込みをするかどうかを設定します。	p.93

「◘撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定で手軽に撮影を楽しみたいときは、●（グリーン）モードを利用してください（p.65）。

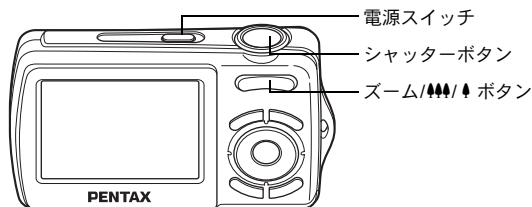
「🔧設定」メニュー

項目	内容	参照
サウンド	操作音量・再生音量・起動音・シャッター音・操作音・セルフタイマー音を設定します。	p.153
日時設定	日付と時刻を設定します。	p.154
ワールドタイム	現在地と目的地を設定します。	p.157
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を設定します。	p.159
フォルダ名	画像を保存するフォルダの命名方法を設定します。	p.160
USB接続	USB ケーブルの接続先（パソコンまたはプリンター）を設定します。	p.161
ビデオ出力	AV機器へのビデオ出力形式を設定します。	p.162
LCDの明るさ	画像モニターの明るさを設定します。	p.163
エコモード	節電モードになるまでの時間を設定します。	p.164
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。	p.165
リセット	日時設定・言語・ワールドタイム・ビデオ出力以外の設定内容をご購入時の状態に戻します。	p.167
全画像消去	保存されている画像をすべて消去します。	p.166
フォーマット	SDメモリーカードをフォーマットします。	p.152

3 撮影

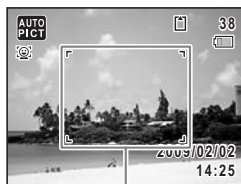
静止画を撮影する

標準的な撮影のしかた

Optio E70には、被写体やシーンに応じた多彩な撮影モードや機能が備わっています。ここでは最も標準的な設定（工場出荷時の初期設定）で撮影する手順を説明します。

1 電源スイッチを押す

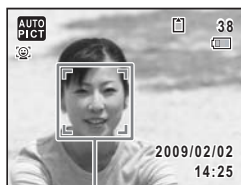
電源がオンになり、静止画が撮影できる状態になります。本書ではこの状態を「静止画撮影モード」と表記します。

2 画像モニターを確認する

画像モニター中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。

フォーカスフレーム

カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます（p.61）。

ズーム/♠♠♠/♠ボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります（p.67）。

♠　（右）被写体を拡大して写す
♠♠♠　（左）被写体を広い範囲で写す

顔検出枠

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、フォーカスフレーム（または顔検出枠）が緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。
ストロボは、明るさに応じて自動的に発光します。
撮影した画像は画像モニターに2秒間表示（クイックビュー）された後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。

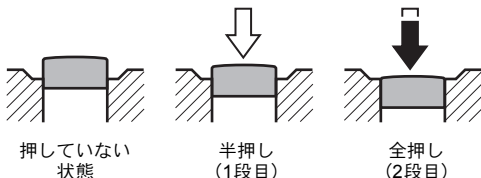
- グリーンボタンを押すと、すべての撮影条件をカメラが自動設定する ●（グリーン）モードに切り替わります（p.65）。
- 手ぶれ補正が機能した場合、補正処理の後にクイックビューを表示しますので、クイックビューの表示までに数秒かかります。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

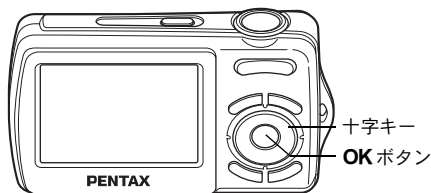
半押し
シャッターボタンを1段目まで軽く押した状態です。ピント位置と露出がロックされます。半押しのときにピントが合うと、画像モニターに緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、白い枠が点灯します。

全押し
シャッターボタンを2段目まで押しきった状態です。撮影が行われます。

3 撮影

ピント合わせの苦手な条件
写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。その場合はいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、その後撮りたい位置に構図を戻してシャッターを切ります。
- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

まばたき検出について
顔検出機能（p.61）が働いているときに、被写体が目を閉じたとカメラが認識すると、「目を閉じていました」というメッセージが、クイックビューの間に表示されます。
- 顔検出（p.61）が行われなかったときは、まばたき検出も行われません。また顔検出した場合でも、検出した顔の条件によってまばたき検出ができないことがあります。
- まばたきを検出しないように設定することもできます（p.92）。

撮影モードを設定する

Optio E70には、多彩な撮影モードが用意されています。撮影モードパレットで撮影するシーンに合った撮影モードを選ぶだけで手軽にぴったりの雰囲気の写真の撮影、動画の記録ができます。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で撮影モードを選択する

撮影モードパレットでアイコンを選択すると、選んだ撮影モードの説明が表示されます。

3 OK ボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

メモ

撮影モードによっては、一部の機能が設定できなかったり、制限がある場合があります。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」（p.192）をご確認ください。

撮影モードには、次の18種類があります。

撮影モード		内容	参照
AUTO PICT	オートピクチャー	適切なシーンを自動的に判断して撮影します。	p.63
P	プログラム	一般的な撮影に適しています。さまざまな機能を設定して撮影することができます。	p.64
	夜景	夜景の撮影に適しています。ぶれに注意し、三脚等で固定して撮影して下さい。	p.71
	夜景ポートレート	夜景での人物撮影に適しています。ぶれに注意し、三脚等で固定して撮影して下さい。	p.71
	ベスト フレーミング	人物を最適な大きさで撮影するように、ズーム倍率を自動的に変更します。（3M固定）	p.72
	動画	動画を撮影します。	p.94
	風景	風景の撮影に適しています。木々の緑と空の青をより鮮やかに写します。	—
	花	花の撮影に適しています。花の輪郭を柔らかめに表現します。	—
	ポートレート	人物の撮影に適しています。肌色を健康的に仕上げます。	p.72
	サーフ＆スノー	砂浜や雪山など、明るい場所での撮影に適しています。	p.76
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に適しています。撮影するまでピントを合わせ続けます。	p.76
	高感度	ぶれを軽減して撮影するために、より高い感度を使用します。	p.71
	キッズ	動きの多い子供を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。	p.73
	ペット	動き回るペットの撮影に適しています。ペットの毛色を選択してください。	p.74
	料理	料理の撮影に適しています。より鮮やかに仕上げます。	—
	パノラマ	撮影した画像をカメラ内でつなぎ合わせて、パノラマ写真を作成します。	p.81
	フレーム合成	フレーム付きの画像を撮影します。記録サイズは、3Mに固定されます。	p.77
	夕焼け	夕焼けの雰囲気を残して撮影します。	p.71

顔検出機能を利用する

Optio E70では、すべての撮影モードで、「顔検出」機能が利用できます。
顔検出機能は、カメラが人物の顔を検出すると、画像モニター上の顔の位置に黄色の顔検出枠を表示し、ピント合わせ（顔認識AF）と露出補正（顔認識AE）を行います。
顔検出枠は、被写体の人物が動くと、顔を追尾して位置や大きさが変化します。

顔検出枠

人物の顔は最大32人まで検出できます。複数の顔を検出した場合は、メインの顔に黄色の枠が表示され、他の顔には白い枠が表示されます。枠は、メイン枠・白い枠を合わせて最大15個まで表示できます。

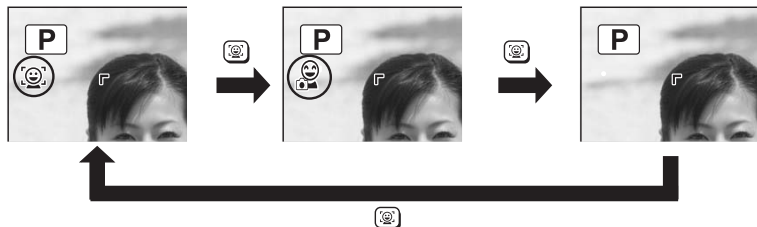
複数の顔を検出した場合

メイン枠　白い枠

ボタンを押して、被写体が笑顔になるとシャッターを自動的に切る「スマイルキャッチ」機能に切り替えることもできます（p.62）。

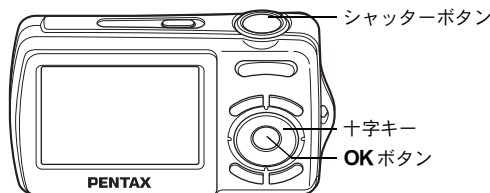
- サングラスなどで被写体の顔の一部がさえぎられている場合や、顔の向きが正面ではない場合は、顔認識AFと顔認識AEが働かないことがあります。
- 被写体の顔が認識できない場合は、選択されているAFエリアでピントを合わせます。
- 「スマイルキャッチ」機能がオンの場合、検出した顔が小さすぎるなどの条件によっては「スマイルキャッチ」機能が働かず、自動的にシャッターが切れないことがあります。その場合はシャッターボタンを押すと、シャッターが切れます。

顔検出機能を切り替える

初期状態では、顔認識機能がオンになっています。カメラ本体の顔検出ボタンを押すたびに、スマイルキャッチ→顔検出機能オフ（顔認識オフ）→顔認識オンと切り替わります。

顔検出機能を切り替えると、顔認識機能またはスマイルキャッチ機能を示すアイコンが画像モニターに表示されます（顔検出機能がオフのときには、アイコンは表示されません）。

- AUTO PICT（オートピクチャー）／（夜景ポートレート）／（ベストフレーミング）／（ポートレート）／（キッズ）モードでは、顔検出機能をオフにはできません。顔認識機能またはスマイルキャッチ機能のいずれかが必ずオンになります。
- （グリーン）／AUTO PICT（オートピクチャー）／（夜景ポートレート）／（ベストフレーミング）／（動画）／（ポートレート）／（キッズ）モードを選択すると、自動的に顔検出機能がオンになります。これらの撮影モードから他の撮影モードに移行すると、元の顔検出機能設定に戻ります。

カメラまかせで撮影する（オートピクチャーモード）

AUTO PICT（オートピクチャー）モードでは、カメラが被写体やシーンを自動的に判別して最適な撮影モードで撮影できます。

1 モードで十字キー（▼）を押す

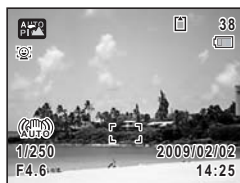
撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、AUTO PICTを選ぶ

3 OK ボタンを押す

オートピクチャーモードが選択され、撮影できる状態になります。
カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます（p.61）。

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わり、判別された撮影モードが画像モニター左上に表示されます。

標準	夜景	夜景ポートレート
風景	花	ポートレート
スポーツ		

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

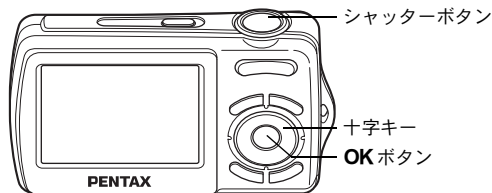
AUTO PICTモードでは以下の制限があります。
- 顔検出機能はオフにできません。
- AFエリアは［　］（マルチ）固定になります。
- デジタルズーム／インテリジェントズームを使用しているときは、「花」は選択されません。
- ストロボモードが⚡A（オート）になっていて「夜景」が選ばれた場合は、自動的に㊉（発光禁止）になります。
- ドライブモードが⧉（連続撮影）になっている場合は、最初に判別された撮影モードのまま連続して撮影されます。
- フォーカスモードが**AF**（標準）／🌷（マクロ）になっている場合は、常にピント合わせが行われます。

お好みの設定で撮影する（プログラムモード）

Ⓟ（プログラム）モードでは、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定して撮影しますが、ストロボの発光方式や記録サイズなどその他の機能は自由に設定できます。

1　📷モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）でⓅを選ぶ

3 OKボタンを押す

プログラムモードが選択され、撮影できる状態になります。
カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます（p.61）。

4 必要に応じて設定を変更する

設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」（p.84～93）をご覧ください。

5 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

簡単撮影モードで撮影する（グリーンモード）

●（グリーン）モードでは、「◘撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定で手軽に撮影を楽しめます。
●モードの設定値は、以下のとおりです。

ストロボモード	⚡A（オート）
ドライブモード	□（標準）
フォーカスモード	AF（標準）
顔検出機能	オン
情報表示	標準
手ぶれ補正	オート
記録サイズ	10M（3648 × 2736）

AFエリア	[ ]（マルチ）
感度	オート
露出補正	±0.0
まばたき検出	☑（オン）
デジタルズーム	☑（オン）
日付写し込み	オフ

1 ◘モードでグリーンボタンを押す

●モードに切り替わります。
もう1回グリーンボタンを押すと、●モードに入る前の撮影モードに戻ります。
カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます(p.61)。

2 シャッターボタンを半押しする

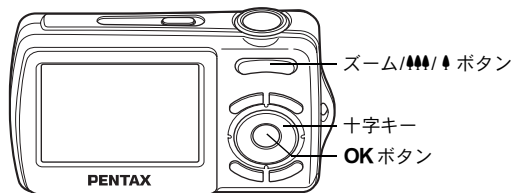
ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- ●モードでは、**OK/DISPLAY** ボタンを押して情報表示を切り替えることはできません。
- ●モードで**MENU**を押すと、「🔧設定」メニューが表示されます。「◘撮影」メニューは表示できません。
- 撮影モードを ● モードにしたまま電源をオフにすると、次回も ● モードで起動します。

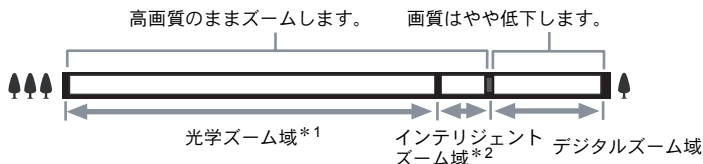
ズームを使って撮影する

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

1 **◘ モードでズーム /♠♠♠/♠ ボタンを押す**

♠ （右）望遠：被写体を拡大して写す

♠♠♠ （左）広角：被写体を広い範囲で写す

♠を押し続けると、自動的に光学ズームからインテリジェントズームに切り替わり、デジタルズームの切り替わり点で止まります。
いったんボタンを離して、もう一度押すとデジタルズームになります。

ズームバーは、次のように表示されます。

*1 光学3倍までズームできます。

*2 記録サイズにより、インテリジェントズーム域は変化します。次の表をご覧ください。

記録サイズと最大ズーム倍率

記録サイズ	インテリジェントズーム	デジタルズーム
10MH／10M	不可（光学3倍のみ）	約17.1倍相当
7M	約3.5倍	
5M	約4.2倍	
3M	約5.3倍	
2.1M	約5.7倍	
2M	約6.8倍	
1024	約10.7倍	
640	約17.1倍（デジタルズームと同じ）	

- 高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご使用をお勧めします。
- デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも画像があらくなります。
- 2M はパノラマ撮影設定時のみです。
- 次の場合、インテリジェントズームは使えません。
  - 記録サイズが10MH／10Mのとき（光学3倍ズームは使用可）
  - (高感度アイコン)（高感度）モード
  - 感度を3200/6400に設定しているとき
- インテリジェントズームで高倍率に拡大すると、画像モニターの画像があらく見えることがあります。撮影した静止画の画質には、影響はありません。
- (動画アイコン)（動画）モードでは、デジタルズームのみ使えます。

デジタルズーム機能を設定する

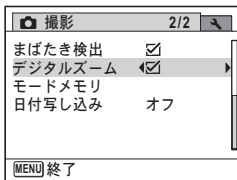
初期設定では、デジタルズームは☑（オン）に設定されています。光学ズームとインテリジェントズーム領域だけを使って撮影したい場合は、□（オフ）に設定します。

1 (カメラアイコン)モードでMENUボタンを押す

「(カメラアイコン)撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

設定が保存されます。

4　MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能の設定を保存する ☞p.98

手ぶれ補正を使って撮影する

（手ぶれ補正）モードでは、静止画撮影中の手ぶれを補正することができます。初期設定では、手ぶれ補正は「オート」に設定されています。

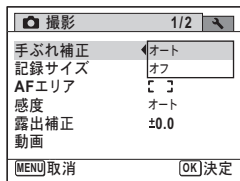
1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「手ぶれ補正」を選ぶ

3 十字キー（▶）押す

ポップアップが表示されます。

撮影 1/2
手ぶれ補正 オート / オフ
記録サイズ
AFエリア
感度 オート
露出補正 ±0.0
動画
MENU 取消 OK 決定

4 十字キー（▲▼）を押して「オート」か「オフ」を選ぶ

5 OKボタンを押す

6 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

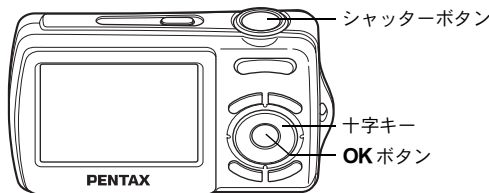
以下の場合は、手ぶれ補正は使えません。

- (フレーム合成)、(パノラマ)、(ベストフレーミング)モード時
- 連続撮影で撮影中
- 動画撮影中
- セルフタイマー使用時
- 感度を1600以上に設定しているとき
- ストロボ発光時

手ぶれ補正が機能した場合、補正処理の後に、クイックビューを表示しますので、クイックビューの表示までに数秒かかります。

暗いシーンを撮影する（夜景／夜景ポートレート／高感度／夕焼けモード）

夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

[夜景アイコン]	夜景	夜景撮影に最適です。ぶれに注意して三脚などで固定し、撮影してください。
[夜景ポートレートアイコン]	夜景ポートレート	人物の入った夜景撮影に最適です。ぶれに注意して三脚などで固定し、撮影してください。
[高感度アイコン]	高感度	ぶれを軽減して撮影するために、より高い感度を使用します。
[夕焼けアイコン]	夕焼け	夕焼けの雰囲気を残して撮影します。

1 [カメラアイコン]モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◄►）で、[夜景]／[夜景ポートレート]／[高感度]／[夕焼け]を選ぶ

3 OK ボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。
カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます（p.61）。

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

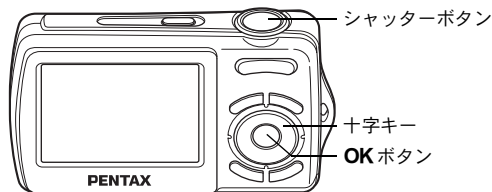
5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 暗いシーンの撮影は、シャッタースピードが遅くなります。
- 手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使った撮影が有効です(p.79)。
- ((♟))モードでは、感度は「オート」、記録サイズは5M（2592×1944）に固定されます。

人物を撮影する（ベストフレーミング／ポートレートモード）

（ベストフレーミング）／（ポートレート）モードは、人物を撮影するのに適しています。またいずれの撮影モードも、顔検出機能(p.61)が自動的にオンになるので、被写体の顔を主体にした写真を簡単に撮ることができます。

	ベストフレーミング	人物を最適な大きさで撮影するように、ズーム倍率を自動的に変更します。3Mサイズに固定されます。
	ポートレート	人物を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、／を選んでOKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。
カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます(p.61)。

3
撮影

🅱モードで人物の顔を認識すると、ズームアップされる範囲を示すオレンジ色の枠が表示されます。

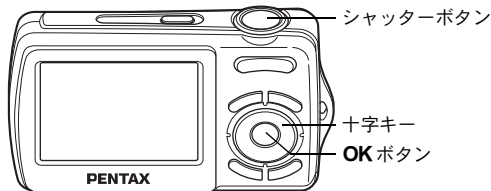
3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。
🅱モードで人物の顔を認識していると、自動でズームし、手順2のオレンジ色の枠の範囲がアップで表示されます。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

子供を撮影する（キッズモード）

（キッズ）モードは、動きの多い子供を撮影するのに適しています。また、肌色を明るく健康的に仕上げることができます。モードでは、顔検出機能（p.61）が自動的にオンになるので、被写体の顔を主体にした写真を簡単に撮ることができます。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、を選ぶ

3 OKボタンを押す

キッズモードが選択され、撮影できる状態になります。
カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます（p.61）。

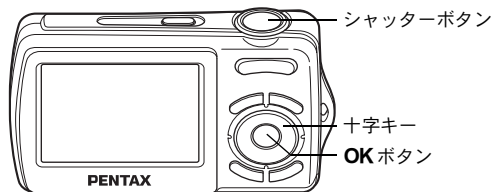
4 **シャッターボタンを半押しする**

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 **シャッターボタンを全押しする**

撮影されます。

ペットを撮影する（ペットモード）

（ペット）モードでは、動き回るペットにフォーカスを合わせ続け、ペットの毛色を活かしてきれいに写すことができます。撮りたいペットの毛色が白っぽいか、黒っぽいか、中間の色かでアイコンの色を選択してください。

1 **モードで十字キー（▼）を押す**

撮影モードパレットが表示されます。

2 **十字キー（▲▼◀▶）でを選ぶ**

3 **OK ボタンを押す**

ペットモードの選択画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で🐕／🐕／🐕／🐈／🐈／🐈を選ぶ

ペットアイコンには犬柄と猫柄があります。犬アイコンと猫アイコンは絵柄が違うだけで、撮影効果は同じです。お好みで使い分けてください。

5 OKボタンを押す

ペットモードが選択され、撮影できる状態になります。
カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます（p.61）。

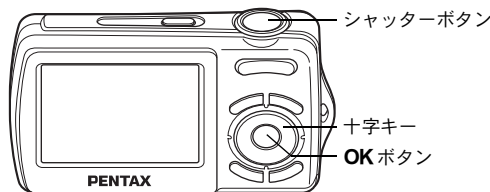
6 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。
シャッターボタンを半押しし続けている間、フォーカスフレームが被写体を追い続けます。

7 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

レジャーシーンやスポーツを撮影する（サーフ&スノー／スポーツモード）

(サーフ&スノーアイコン)	サーフ&スノー	砂浜や雪山など、背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
(スポーツアイコン)	スポーツ	動きの速いものの撮影に最適です。撮影するまで動くものにピントを合わせ続けます。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、／を選ぶ

3 OK ボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。
カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます（p.61）。

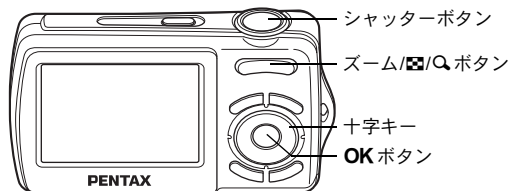
4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。
スポーツモードを選択した場合は、シャッターボタンを半押しし続けている間、フォーカスフレームが被写体を追い続けます。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

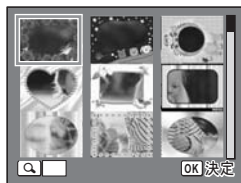
フレームをつけて撮影する（フレーム合成モード）

（フレーム合成）モードでは、カメラに保存されているフレームに合わせて撮影することができます。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）でを選択し、OKボタンを押す

フレーム選択の9分割画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で使用するフレームを選ぶ

4 ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押す

選んだフレームが1画面表示されます。
フレームは次の方法で選び直すことができます。

十字キー（◀▶）	別のフレームを選択
ズーム/⊞/🔍ボタン（⊞）	フレーム選択の9分割画面に戻り、手順3と同様の操作で別のフレームを選択

5 OKボタンを押す

フレーム付きの撮影画面が表示されます。カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます（p.61）。

6 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- モードの記録サイズは、3M（2048×1536）に固定されます。
- 工場出荷時には、デフォルトフレーム3種類、オプションフレーム87種類が内蔵されています（付属のCD-ROMには、デフォルトフレームを含む90種類のフレームが収録されています）。

オプションのフレーム画像について

Optio E70の内蔵メモリーには、オプションのフレームが登録されています。このオプションフレームは、パソコンから内蔵メモリーのファイルを削除したり、カメラをリセットすると削除されます。オプションフレームを内蔵メモリーに再度登録する場合は、付属のCD-ROM（S-SW87）からコピーしてください（p.139）。

撮影した画像にフレームを合成する ☞p.137

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後または2秒後に撮影されます。セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚等に固定してください。

⏲	シャッターボタンを押してから約10 秒後に撮影されます。撮影者も含めて集合写真を撮る場合などに利用できます。
⏲2S	シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影されます。手ぶれを避けるために利用できます。

1 モードで十字キー（▲）を押す

2 十字キー（◀ ▶ ▼）を押して、⏲ ／ ⏲2S を選択し、OK ボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。
カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます (p.61)。

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

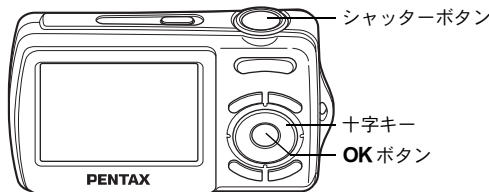
10秒後または2秒後に撮影されます。

注意
静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

- 🎥（動画）モードでは、10秒後または2秒後に動画撮影が始まります。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しするとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直します。
- ⏲は●（グリーン）モードの初期設定では選択できません。ただし、他の撮影モードで⏲を選んでから、撮影モードを●モードに切り替えると、選択できるようになります。

連続して撮影する（連続撮影）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

⧉	連続撮影	1枚撮影するごとに、画像をメモリーに書き込み、続いて次の静止画を撮影します。高画質の画像ほど、撮影間隔が長くなります。

1 📷モードで十字キー（▲）を押す

2 十字キー（◀▶）を押して、⧉ を選択し、OK ボタンを押す

連続撮影できる状態になります。

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

シャッターボタンを押し続けている間、連続して写真が撮影されます。

- 🗐では、ストロボは発光しません。
- ●（グリーン）／🎥（動画）／🖾（フレーム合成）／▮■▮（パノラマ）モードでは、🗐は選択できません。
- 🗐では、手ぶれ補正機能は働きません。

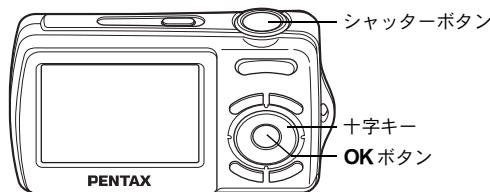
- 🗐 は SD メモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 🗐の撮影間隔は、記録サイズの設定によって異なります。
- ピント・露出は、1枚目で固定されます。
- 顔検出機能（p.61）がオンの場合は、1枚目の撮影時のみ顔検出機能が働きます。
- まばたき検出は、最後に撮影された画像に対して行われます。
- AUTO PICT（オートピクチャー）モードの場合は、最初に判別された撮影モードのまま連続して撮影されます。

パノラマ撮影をする（パノラマモード）

▮■▮（パノラマ）モードでは、2枚または3枚の撮影画像をカメラ内で合成してパノラマ写真を作成します。

1 📷モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で▮■▮を選ぶ

3 OK ボタンを押す

▮■▮モードになり、「移動する方向を指定してください」とメッセージが表示されます。

4 十字キー（◀▶）で、画像をつなげる方向を選ぶ

1枚目を撮影する画面が表示されます。

カメラが人物の顔を検出すると、顔認識機能が働き、顔検出枠が表示されます (p.61)。

5 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6 シャッターボタンを全押しする

1枚目の画像が撮影され、2枚目を撮影する画面が表示されます。

手順4で▶を選んでいる場合

画面の左端に、1枚目に撮った画像の右端部分が透過表示されます。

手順4で◀を選んでいる場合

画面の右端に、1枚目に撮った画像の左端部分が透過表示されます。

7 2枚目の画像を撮影する

実画像が1枚目の画像の透過表示に重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。

3
撮影

8 3枚目の画像を撮影する

3枚目も手順5～7を繰り返して撮影します。
画像がパノラマ合成され、合成結果が表示されます。

- 2枚目と3枚目を撮影するときは、位置合わせガイドの右端を軸にしてカメラを旋回させるようにすると、ひずみの少ない写真ができます。
- 1枚目と2枚目、または2枚目と3枚目の重ね合わせ部分に、動くものや繰り返しパターンの像があったり、逆に何もない場合は、うまく合成できないことがあります。
- 顔検出機能（p.61）がオンの場合は、1枚目の撮影時のみ顔検出機能が働きます。

1枚目または2枚目で撮影をやめるとき

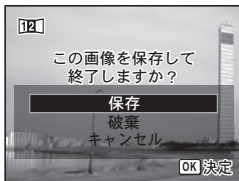
1 手順6で1枚目の画像を撮影後、または手順7で2枚目の画像を撮影後に、OKボタンまたは十字キー（▼）を押す

確認の画面が表示されます。

2 十字キー（▲▼）で処理を選び、OKボタンを押す

保存： 撮影済みの画像を保存し、新たに1枚目から撮影します。2枚目の画像撮影後に選択すると、1枚目と2枚目の撮影画像がパノラマ合成され、合成結果が表示されます。

破棄： 撮影済みの画像を保存しないで、新たに1枚目から撮影します。

キャンセル： 直前の撮影画面に戻ります。

撮影のための機能を設定する

ストロボの発光方法を選択する

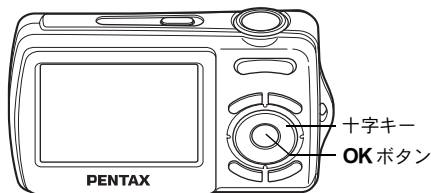
⚡A	オート	暗いときや逆光のときにストロボが自動的に発光します。
⊘	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。ストロボが使えない場所での撮影にご利用ください。
⚡	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
◉⚡	強制＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。

- 撮影モードが（動画）、ドライブモードが（連続撮影）、フォーカスモードが▲（無限遠）に設定されているときは、常に⊘になります。
- 赤目軽減機能を使用した場合は、本発光の前にプリ発光（予備発光）を行います。
- （グリーン）モードでは、⚡A／⊘のみ選択できます。
- （夜景）モードでは、⚡Aは選択できません。
- （夜景ポートレート）モードのとき、または顔認識がオンで⚡Aに設定されているときに顔認識をした場合は、自動的に◉⚡になります。

注意

- 近距離撮影時にストロボを発光させると、ストロボの配光にムラができる場合があります。
- ストロボ発光時は、手ぶれ補正機能は働きません。

3

撮影

1 □モードで十字キー（◀）を押す

押すたびに発光方法が切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。

2 OK ボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態になります。

ストロボ撮影の赤目現象について
ストロボ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にストロボの光が反射して発生する現象です。赤目現象は、人物の周りを明るくしたり、撮影距離を近くして広角側で撮影すると、発生しにくくなります。また、ストロボの発光方法を◉（強制＋赤目）にするのも有効です。
それでも赤目になってしまった画像は、赤目補正機能（p.136）を使って修正できます。

ストロボ発光方法の設定を保存する ☞p.98

ピントの合わせ方を選ぶ（フォーカスモード）

AF	標準	被写体までの距離が40cm 以上のときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
✿	マクロ	被写体までの距離が約10～50cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
PF	パンフォーカス	他の人に撮ってもらうときや、車や電車の窓越しに外の風景を撮るときなどに使用します。手前から奥までピントが合うようになります。
▲	無限遠	遠くにあるものを撮影するときに使用します。ストロボは⚡（発光禁止）となります。

1 ◘モードで十字キー（▶）を押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。

2 OKボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態になります。

- ●（グリーン）モードでは、**AF**／✿／**PF**のみ選択できます。
- **AF**を選択し、被写体までの距離が40cmより近いと、自動的に10cmからのピント合わせが行われます（オートマクロ機能)。その場合は、画像モニターに✿が表示されます。
- ✿を選択して撮影する場合、被写体までの距離が50cmより遠いと、自動的に∞（無限遠）までのピント合わせが行われます。
- ✿を選択して、シャッターボタンを半押しした時にピントが合わなくても、撮影はできます。ただし、この場合はピントが合っていないボケた画像が撮影されます。

フォーカスモードの設定を保存する ☞p.98

オートフォーカス範囲を設定する（AFエリア）

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

[　]	マルチ	通常範囲に設定します。
[]	スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。
≡()	自動追尾	動き回る被写体にフォーカスを合わせ続けます。

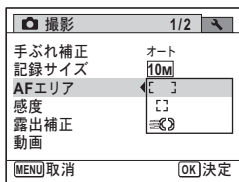
1 ◘モードでMENUボタンを押す

「◘撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）でAFエリアを選ぶ

5 OKボタンを押す

設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

- 動画（動画）／フレーム（フレーム合成）モードでは、≡()は選択できません。
- ●（グリーン）／AUTO PICT（オートピクチャー）モードでは、[　]に固定されます。

3 撮影

記録サイズを選択する

静止画像の記録サイズ（横×縦の画素数）を7種類から選択できます。記録サイズが大きいほど、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。ただし、写真の美しさ、鮮明さは画質や露出制御、使用するプリンターの解像度なども関係するので、むやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、3M（2048×1536）程度が目安です。記録サイズが大きくなるほど、画像が大きくなりファイルサイズも増えます。（10MHと10Mでは、10MHの方が高画質となります）
次の表を参考に、用途に応じて適切な「記録サイズ」を設定してください。

記録サイズ		鮮明、きれい	用途
10MH	3648×2736	↑	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など
10M	3648×2736		
7M	3072×2304		
5M	2592×1944		
3M	2048×1536		はがきサイズプリントなど
2.1M	1920×1080（16：9）		ハイビジョンテレビと同じアスペクト比による、自然な広がり感の表現など
1024	1024× 768		
640	640× 480		ホームページ掲載、電子メール添付など

初期設定は、10M（3648×2736）です。

2.1M選択時の撮影／再生画面について

記録サイズで2.1Mを選ぶと、画像の横縦比が16：9になり、画像モニターの表示は右のようになります。

1 ◘モードでMENUボタンを押す

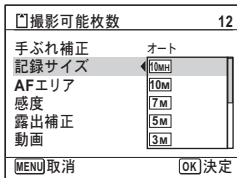
「◘撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で記録サイズを選ぶ

撮影可能枚数 12
手ぶれ補正 オート
記録サイズ 10MH
AFエリア 10M
感度 7M
露出補正 5M
動画 3M
MENU 取消　OK 決定

5 OKボタンを押す

設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

- （グリーン）モードで撮影した画像は、10Mに固定されます。
- （ベストフレーミング）／（フレーム合成）モードで撮影した画像は、3Mに固定されます。
- （高感度）モードで撮影した画像は、5Mに固定されます。

3 撮影

露出を補正する

撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影するときに利用します。

1 ◘モードでMENUボタンを押す

「◘撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

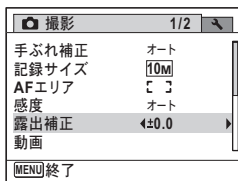
3 十字キー（◄►）を押して、補正量を選ぶ

明るくする場合は+側に、暗くする場合は–側に設定します。
露出補正の値は、–2.0～+2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

◘ 撮影	1/2
手ぶれ補正	オート
記録サイズ	10M
AFエリア	[ ]
感度	オート
露出補正	◄±0.0 ►
動画	
MENU 終了	

4 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ

●（グリーン）／AUTO PICT（オートピクチャー）モードでは、露出補正は使用できません。

露出補正の設定を保存する ☞p.98

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

オート	設定をカメラにまかせます（感度 64～800）。
64	↑ 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ない画像が得られます。暗い場所ではシャッタースピードが遅くなります。
100	
200	
400	
800	
1600	
3200	感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッタースピードを速くできます。画像にはノイズが増えます。
6400	↓

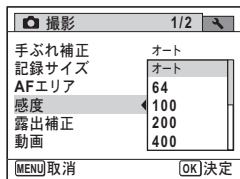
1 📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で感度を選ぶ

5 OKボタンを押す

設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

- 感度を3200／6400に設定すると、記録サイズは5Mに固定されます。
- ●（グリーン）／動画（動画）モードに設定されているときは、「オート」（感度64～800）のみになります。
- （高感度）モードに設定されているときは、「オート」（感度 64～6400）のみになります。
- 感度を1600以上に設定すると、手ぶれ補正機能は働きません。

感度の設定を保存する ☞p.98

まばたき検出を設定する

顔検出機能が働いたときに、まばたき検出を行うかどうかを設定します。

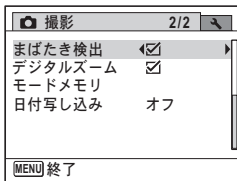
1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「まばたき検出」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

設定が保存されます。

☑（オン）　まばたき検出を行う
□（オフ）　まばたき検出を行わない

4　MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

まばたき検出 ☞p.58

日付写し込みを設定する

静止画撮影時に日付と時刻を写し込むかどうかを設定します。

1　Aモードで MENU ボタンを押す

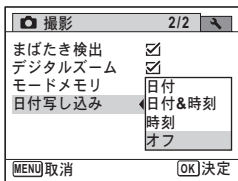
「A撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「日付写し込み」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で写し込む内容を選ぶ

「日付」「時刻」「日付＆時刻」「オフ」から選択します。

5　OK ボタンを押す

設定が保存されます。

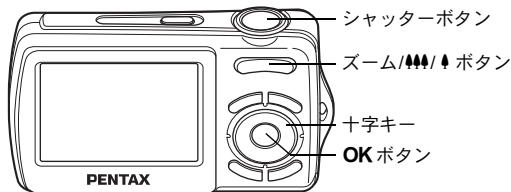
6　MENU ボタンを押す

撮影できる状態になります。

- 「日付写し込み」を設定すると、Aモードのときに画像モニターにDATEが表示されます。
- 「日付写し込み」で画像に写し込んだ日付／時刻は、あとから消去できません。
- 日付／時刻は、「日時設定」(p.41)で設定した表示スタイルで写し込まれます。
- 日付／時刻を写し込んだ画像を印刷するときに、プリンターや画像編集ソフトで日付を印刷するように設定すると、日付／時刻が重なって印刷されます。

動画を撮影する

動画を撮影する

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1 ◘モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

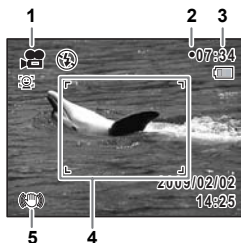
2 十字キー（▲▼◀▶）で🎥（動画）を選ぶ

3 OK ボタンを押す

🎥（動画）モードが選択され、撮影できる状態になります。
画像モニターに次の情報が表示されます。

1 動画モードアイコン
2 録画中アイコン（録画中に点滅）
3 撮影可能時間
4 フォーカスフレーム（録画中は表示されません）
5 手ぶれ補正アイコン

ズーム/♠♠♠/♠ ボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

♠　（右）被写体を拡大して写す
♠♠♠　（左）被写体を広い範囲で写す

4 シャッターボタンを全押しする

録画が開始されます。録画は連続で内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱい、または最大で2GBまで可能です。

- 🎥（動画）モードでは、ストロボは発光しません。
- フォーカスモードは、撮影開始前に変更することができます。
- 光学ズームとデジタルズームは、撮影開始前に使うことができます。デジタルズームは撮影中にも使うことができます。
- 撮影モードを🎥（動画）にすると、顔検出機能がオンになります。動画の撮影を開始する前に😊ボタンを押して、スマイルキャッチ機能を選択するか、または顔検出機能をオフにできます（p.61）。スマイルキャッチ機能が選択されている場合は、笑顔を検出すると自動的に動画の撮影が開始されます。ただし検出した顔の条件によっては「スマイルキャッチ」機能が働かず、自動的に動画の撮影が開始されないことがあります。その場合は、シャッターボタンを押すと撮影が開始されます。

5 シャッターボタンを全押しする

録画が終了します。

動画を再生する ☞p.103

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画の記録サイズを選択する

動画の記録サイズを640 30／640 15／320 30／320 15から選択できます。
「記録サイズ」が大きいほど鮮明な画像になりますが、ファイルサイズが増えます。また、30fpsの方が15fpsよりも滑らかな動画になりますが、同様にファイルサイズが増えます。

640 30（640×480・30fps）、 640 15（640×480・15fps）	テレビやパソコンの画面で動画を見るときに適しています。
320 30（320×240・30fps）、 320 15（320×240・15fps）	電子メール添付やホームページ掲載に適しています。

初期設定は、640 30（640×480・30fps）です。

3
撮影

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

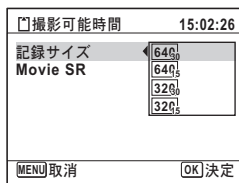
3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「記録サイズ」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で記録サイズを選ぶ

7 OKボタンを押す

設定が保存されます。

8 MENUボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

動画の手ぶれ補正を設定する（Movie SR）

（動画）モードでは、Movie SR（動画手ぶれ補正機能）を使って動画撮影中の手ぶれを補正することができます。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

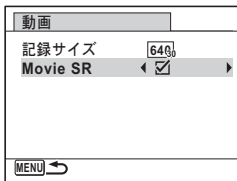
2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「Movie SR」を選ぶ

5 十字キー（◀▶）で、☑（オン）／□（オフ）を切り替える

設定が保存されます。

6 MENUボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

設定を保存する（モードメモリ）

カメラの電源をオフにしても、カメラの諸設定を維持する機能を「モードメモリ」と呼びます。
撮影のための設定には、モードメモリが常に☑（オン）のもの（電源をオフにしても常に設定を維持するもの）と、モードメモリのオン／オフが選べるもの（電源をオフにしたときに設定を維持するかどうかを選べるもの）があります。モードメモリのオン／オフが選べる項目を表に示します（ここに示した以外の項目は、電源をオフにしても常に設定が保存されます）。
☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態が保存されます。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときにその項目の設定がご購入時の状態に戻ります。表では、モードメモリの初期設定がオンか、オフかも示しています。

項目	内容	初期設定	参照
顔認識モード	顔検出ボタンで設定した顔検出モード	□	p.61
ストロボモード	十字キー（◀）で設定したストロボモード	☑	p.84
ドライブモード	十字キー（▲）で設定したドライブモード	□	p.79 p.80
フォーカスモード	十字キー（▶）で設定したフォーカスモード	□	p.86
ズーム位置	ズーム/♣♣♣/♣ ボタンで設定したズーム位置	□	p.67
感度	「◘撮影」メニューの「感度」で設定した値	□	p.91
露出補正	「◘撮影」メニューの「露出補正」で設定した値	□	p.90
デジタルズーム	「◘撮影」メニューの「デジタルズーム」の設定	☑	p.68
DISPLAY	**OK**/**DISPLAY** ボタンで設定した画像モニターの情報表示状態	□	p.18
ファイルNo.	オンにすると、SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連続したファイル番号を使用	☑	—

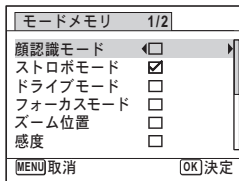
1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

5 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

6 OKボタンを押す

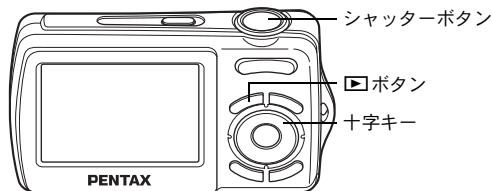
設定が保存されます。

7 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

4 画像の再生と消去

再生する

静止画を再生する

1 **撮影後に▶ボタンを押す**

▶モードになり、撮影した画像が画像モニターに表示されます。また、▶モード時に画像が1枚だけ表示されている状態(▶モードの初期状態)を「1画面表示」と呼びます。

前後の画像を再生する

2 **十字キー(◀▶)を押す**

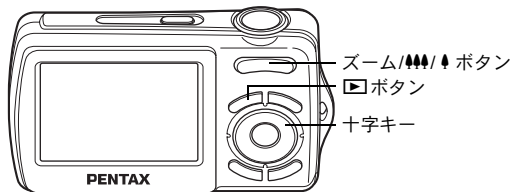
前後の画像が表示されます。

表示した画像を消去する

画像表示中に🗑ボタンを押すと、表示中の画像を消去する画面が表示されます。十字キー(▲)を押して「消去」を選び**OK**ボタンを押すと、表示中の画像を消去できます(p.119)。

その他の消去のしかた ☞p.119

動画を再生する

動画を再生します。動画再生時には、音声も同時に再生されます。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2 十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

再生中にできる操作

十字キー（◀）	逆方向に再生
十字キー（▲）	一時停止
十字キー（◀）を長押し	早戻し再生（10×）
十字キー（▶）を長押し	早送り再生（10×）
ズーム/ボタン（T）	音量を大きくする
ズーム/ボタン（W）	音量を小さくする

一時停止中にできる操作

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	再生を再開

メモ

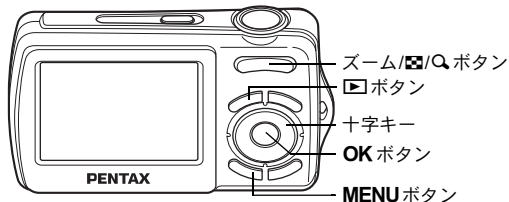
早戻し再生のときは十字キー（▶）を、早送り再生のときは十字キー（◀）を長押しするとそれぞれ解除され、逆方向／順方向再生に戻ります。

3 十字キー（▼）を押す

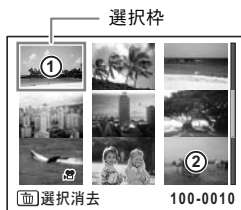
再生が停止します。

4画面表示／9画面表示／フォルダ表示／カレンダー表示をする

4画面／9画面表示

複数の画像を同時に4枚ずつ、あるいは9枚ずつ画像モニターに表示します。

1 ▶モードで、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す

画像が4コマずつ1ページに表示され、ページ単位で表示される画像が変わります。⊞をもう一度押すと、画像が9コマずつ1ページに表示され、同様にページ単位で表示される画像が変わります。ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押すと、4画面表示は1画面表示に、9画面表示は4画面表示に戻ります。

十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。4画面表示のときは5枚以上、9画面表示のときは10枚以上の画像が記録されている場合は、①の画像を選択しているときに十字キー（▲◀）を押すと前のページが表示され、②の画像を選択しているときに十字キー（▼▶）を押すと次のページが表示されます。

画像に表示される記号の意味は次のとおりです。

(無印)	静止画
🎥	動画（1コマ目の画像を表示）

OKボタンまたは**MENU**ボタンを押すと、選択した画像の1画面表示に切り替わります。
▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、📷モードに切り替わります。

フォルダ表示／カレンダー表示に切り替える

9画面表示でズーム/⊞/🔍ボタンの⊞ボタンを押すと、フォルダ表示またはカレンダー表示に切り替わります。フォルダ表示とカレンダー表示は、グリーンボタンで切り替えることができます。

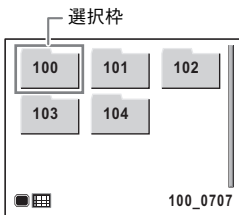
1 ▶モードで、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す

画面が4画面表示に、もう一度押すと9画面表示に切り替わります。

2 ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す

画面がフォルダ表示またはカレンダー表示に切り替わります。

フォルダ表示

画像が記録されているフォルダが一覧表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。
フォルダを選択してズーム/⊞/🔍ボタンの🔍か**OK**ボタンを押すと、フォルダ内の画像が9画面表示されます。

カレンダー表示

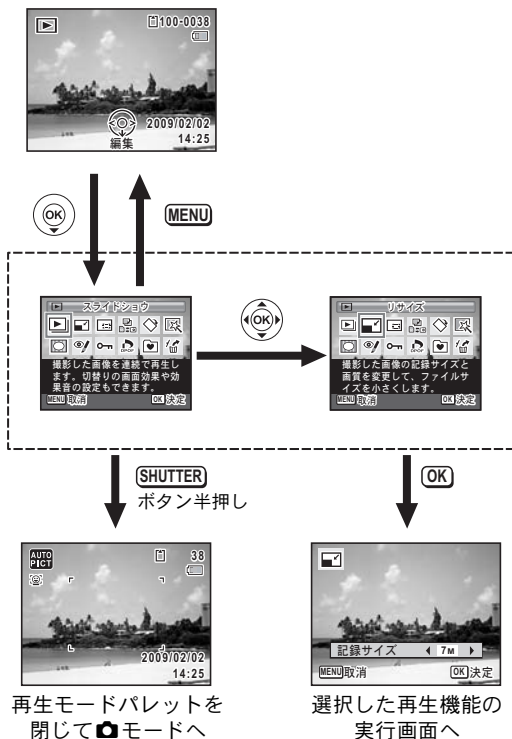
撮影した画像が、日付ごとにカレンダー形式で表示されます。
カレンダーには、各日付で撮影された最初の画像が表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。
日付を選択してズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押すと、その日付に撮影した画像が9画面表示されます。
日付を選択して**OK**ボタンを押すと、その日付で最初に撮影した画像の1画面表示に切り替わります。

- フォルダ表示／カレンダー表示で**MENU**ボタンを押すと、9画面表示に切り替わります。
- フォルダ表示／カレンダー表示で▶ボタンまたはシャッターボタンを半押しすると、📷モードに切り替わります。

再生機能を使う

▶モードで十字キー（▼）を押すと再生モードパレットが表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）を使ってアイコンを選び、**OK** ボタンを押すと、使用したい再生機能を呼び出すことができます。

再生モードパレットを
閉じて◘モードへ

選択した再生機能の
実行画面へ

再生モードパレットのアイコンを選択すると、選んだ機能の説明が表示されます。

再生モードパレット一覧

再生モード		内容	参照
	スライドショウ	撮影した画像を連続で再生します。切り替わりの画面効果や効果音の設定もできます。	p.108
	リサイズ	撮影した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを小さくします。	p.130
	トリミング	画像の不要な部分を削除して好みの大きさに変更します。新規保存されます。	p.131
	画像コピー	内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像をコピーします。	p.140
	画像回転	撮影した画像を回転させます。縦位置写真をTVなどで見る際に便利です。	p.110
	デジタルフィルター	撮影した画像にカラーフィルターや明るさフィルターをかけて仕上げます。	p.133
	フレーム合成	撮影した画像にフレームを付けて保存します。上書きまたは新規保存が選べます。	p.137
	赤目補正	赤目になった画像を修正します。元画像によっては正しく補正できない場合があります。	p.136
	プロテクト	消したくない画像を保護します。ただしフォーマットを行うと、消去されます。	p.123
	DPOF	撮影した画像の印刷設定をします。お店でプリントする際に便利です。	p.142
	お気に入り	撮影した画像を内蔵メモリに登録します。登録した画像は640にリサイズされます。	p.113
	削除画像復活	誤って削除してしまった画像をもと通りに復元します。	p.122

スライドショウで連続再生する

保存されている画像を連続して再生します。

1 **▶モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ**

2 **十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

3 **十字キー（▲▼◀▶）で▣（スライドショウ）を選ぶ**

4 **OKボタンを2回押す**

スライドショウがスタートします。
スライドショウの途中で**OK**ボタンを押すと、一時停止します。もう一度**OK**ボタンを押すと再開します。

5 **OKボタン以外のどれかのボタンを押す**

スライドショウが終了します。

スライドショウの条件を設定する

再生時の表示間隔と画像切り替え時の画面効果・効果音を設定します。

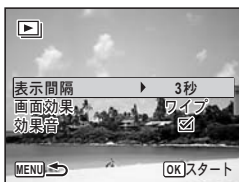
1 **▶モードで十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

2 **十字キー（▲▼◀▶）で▣（スライドショウ）を選ぶ**

3 OKボタンを押す

スライドショウの条件を設定する画面が表示されます。

4 十字キー(▲▼)で「表示間隔」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で表示間隔を選び、OKボタンを押す

「3秒」「5秒」「10秒」「20秒」「30秒」から選択します。

7 十字キー(▲▼)で「画面効果」を選ぶ

「画面効果」を選択後、十字キー（▶）を押すと、次の内容がポップアップで表示されます。十字キー(▲▼)で選択し、**OK**ボタンを押すと決定します。

ワイプ	左から右へ画面が流れる効果
チェッカー	小さな四角のモザイク状のブロックで画面が切り替わる効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がってくる効果
オフ	切り替え効果なし

8 十字キー（▲▼）で「効果音」を選ぶ

9 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

画面効果を「オフ」以外に設定すると、画面が切り替わるときに流れる音のオン（☑）／オフ（□）を切り替えることができます。

10 OKボタンを押す

設定した表示間隔と画面効果でスライドショウが始まります。

- スライドショウは、**OK**ボタン以外のどれかのボタンを押して終了するまで何度も繰り返します。
- 動画は表示間隔の設定にかかわらず、通常はすべて再生されてから次の画像に移ります。ただし、動画の再生中に十字キー（▶）を押すと、すぐに次の画像へ移ります。
- スライドショウの再生にパノラマ画像が含まれる場合は、パノラマ画像は「表示間隔」や「画面効果」の設定にかかわらず、4秒間かけて左から右へスライド表示されます。

AV機器と接続する ☞p.126

画像を回転表示する

1 撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が画像モニターに表示されます。

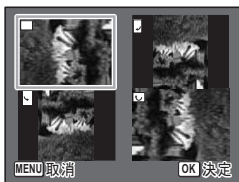
2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

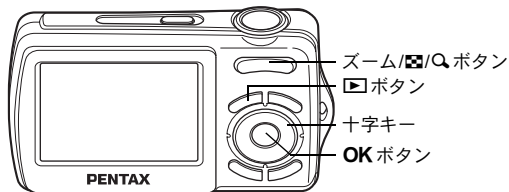
3 十字キー（▲▼◀▶）で◇（画像回転）を選び、OKボタンを押す

回転方向を4種類（0／右90／左90／180°）から選ぶ画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼◀▶）で回転方向を選び、OKボタンを押す

回転した状態で画像が保存されます。

- パノラマ撮影された画像や動画は回転表示できません。
- プロテクトされた画像は、回転表示はできますが、回転された状態は保存されません。

再生画像を拡大する

画像を再生するときに、最大10倍まで拡大表示できます。

1 ▶ モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズーム/⊞/Q ボタンの Q を押す

ガイド表示

画像が大きく（1.1〜10倍）表示されます。ズーム/⊞/Q ボタンの Q を押し続けると連続的に大きさが変わります。
画像のどの部分を拡大しているかを画面左下のガイド表示の＋マークで確認できます。

拡大表示中にできる操作

十字キー（▲▼◀▶）	拡大位置を移動する
ズーム/⊞/Q ボタン（Q）	画像を拡大する（最大10倍まで）
ズーム/⊞/Q ボタン（⊞）	画像を縮小する（最小1.1倍まで）

3 OK ボタンを押す

1画面表示に戻ります。

動画は拡大表示できません。

被写体の顔を自動的に拡大する（顔アップ再生）

撮影時に顔検出機能が働き、被写体の顔を検出した画像を再生する場合は、ボタンを押すだけで、被写体の顔をクローズアップした再生（顔アップ再生）が楽しめます。

1 ▶ モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2 画像にアイコンが表示されているのを確認し、ボタンを押す

メインの顔を中心に、顔アップ再生されます。

撮影時に複数の顔を検出した場合は、ボタンを押すたびに、それぞれの被写体の顔を中心にした顔アップ再生が行われます。

3 OK ボタンを押す。

1画面表示に戻ります。

お気に入り画像や動画は顔アップ再生できません。

- 顔アップ再生時の拡大倍率は、撮影時に検出された顔の大きさなどの条件によって異なります。
- 顔アップ再生中に、ズーム/▦/🔍ボタンの🔍を押すと、顔アップ再生されている被写体を中心に、現在の拡大率と同じかやや大きい倍率で拡大表示されます。また、ズーム/▦/🔍ボタンの▦を押すと、顔アップ再生されている被写体を中心に、現在の拡大率と同じかやや小さい倍率で拡大表示されます。

画像をお気に入りに登録する

気に入った画像をFAVORITEフォルダへコピーし、簡単に再生できます。お気に入りに登録した画像には、画像モニター左上にが表示されます。

1 ▶モードに入り、十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で（お気に入り）を選ぶ

3 OKボタンを押す

登録と再生の切り替え画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「登録」を選び、OKボタンを押す

登録画像の選択画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）で画像を選択し、登録したい画像に十字キー（▼）で「お気に入り　□」にチェックを付ける

MENUボタンを押すと登録を中止します。チェックを外す（選択を解除する）には、十字キー（▲）を押します。

6 OKボタンを押す

登録して、画面を終了します。

- 2.1M で撮影された画像、パノラマ撮影された画像、動画、他のカメラで撮影した画像はお気に入りに登録できません。
- お気に入りに登録した画像は、内蔵メモリー内のFAVORITEフォルダに記録されます。異常があったときに内蔵メモリーがフォーマットされると、FAVORITEフォルダも削除されます。
- ファイル名が FVRP9999.JPG になると自動的にリネーム機能が働きますが、リネームには時間がかかります。リネーム中は、電源を切ったり、電池を抜いたりしないでください。画像が壊れて読み出せなくなります。

- お気に入りに登録した画像は、640（640×480）の記録サイズで保存されます。
- 一度にたくさんの画像を登録すると、処理に時間がかかる場合があります。（一度に登録指定ができるのは、100枚までです）
- お気に入りのファイル名がFVRP9999.JPGになった場合、登録時に既に登録されている画像のファイル名を0001～にリネームします。ただし、画像の順番は変わりません。

お気に入り画像を再生する

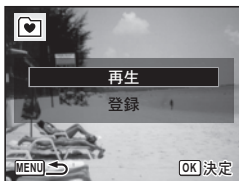
お気に入りに登録した画像を再生します。

1 **▶モードに入り、十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

2 **十字キー（▲▼◀▶）で ♡（お気に入り）を選ぶ**

3 **OKボタンを押す**

登録と再生の切り替え画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「再生」を選び、OKボタンを押す

最初にお気に入りに登録した画像が表示されます。
OKボタンを押すとスライドショウが開始されます。
MENUボタンを押すと、お気に入りの再生を終了し、通常の▶モードに戻ります。

スライドショウについて
お気に入り画像を再生中にOKボタンを押すと、お気に入り画像のスライドショウが始まります。全てのお気に入り画像の再生が終わると、スライドショウは終了します。
スライドショウ再生中のボタン操作の機能は以下のとおりです。
OKボタン：スライドショウ一時停止
シャッターボタン全押し：撮影モードへ移行
電源スイッチ：スライドショウを終了し、電源オフ
その他のボタン：スライドショウを終了し、お気に入り画像の1画面表示に戻ります

- 1画面表示でズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押すと、4画面表示になります。更に⊞ボタンを押すと9画面表示になります。
- 9画面表示で🔍ボタンを押すと、4画面表示に、更に🔍ボタンを押すと1画面表示に戻ります。
- お気に入り画像に登録した画像は、以下に対応していません。
  - PictBridge印刷
  - 再生モードパレットの機能
  - 通常の▶モード時の再生
- お気に入り画像に登録した画像やFAVORITEフォルダは、パソコンなどでファイル操作を行わないでください。画像を読み出せなくなる場合があります。

お気に入り画像を消去する

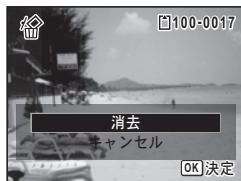
お気に入りに登録した画像を消去します。

1画像ずつ消去する

1 お気に入り画像の再生画面に入る

（「お気に入り画像を再生する」☞p.114）

2 消去したいお気に入り画像を十字キー（◀▶）で選び、🗑ボタンを押す

「消去／キャンセル」の画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す

選択したお気に入り画像が消去され、お気に入り画像の1画面表示か「画像がありません」のメッセージが表示されます。

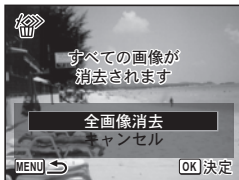
全画像消去する

1 お気に入り画像の再生画面に入る

（「お気に入り画像を再生する」☞p.114）

2 🗑ボタンを2回押す

「全画像消去／キャンセル」の画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「全画像消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す

お気に入り画像が全て消去され、「画像がありません」のメッセージが表示されます。

選択して消去する

1 お気に入り画像の再生画面に入る

(「お気に入り画像を再生する」☞p.114)

2 ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す

4画面表示になります。さらに⊞を押すと9画面表示になります。

3 🗑ボタンを押す

画像に□が表示されます。

4 十字キー（▲▼◀▶）で削除する画像に移動し、OKボタンを押す

画像が選択され、☑が表示されます。
ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押すと、押している間だけ選択した画像が1画面表示されるので、削除したい画像かどうかを確認できます（離すと4画面／9画面表示に戻ります）。

5 🗑ボタンを押す

「選択消去/キャンセル」の画面が表示されます。

4
画像の再生と消去

6 十字キー（▲▼）で「選択消去」を選ぶ

7 OK ボタンを押す

選択したお気に入り画像が消去され、お気に入り画像の4画面/9画面表示か「画像がありません」のメッセージが表示されます。

お気に入り画像は削除画像復活に対応していません。元の画像を再度お気に入りに登録してください。

「画像がありません」が表示されているときに **OK** ボタンを押すと、再生モードパレットが表示されます。

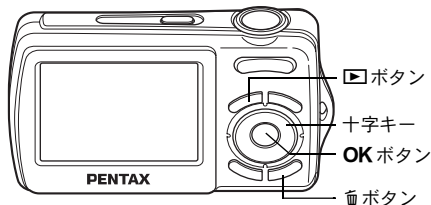
消去する

失敗したり、不要になった画像を消去します。

うっかり!必要な画像を消してしまったら・・・
Optio E70には、このカメラで撮影した画像を復活させる機能があります(p.122)。
画像を消去した後、SDメモリーカードを取り出さない限り電源をオフにしても復活させることは可能ですが、撮影/画像プロテクト/DPOF設定/リサイズ/トリミングなどのデータ書き込み操作やフォーマットをすると、消去した画像は復活できません。

1画像ずつ消去する

1画像ずつ消去します。

プロテクトされている画像は消去できません(p.123)。

1 ▶モードに入り、十字キー(◀▶)で消去したい画像を選ぶ

2 🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「消去」を選ぶ

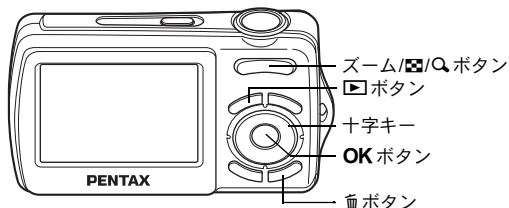
4 OKボタンを押す

消去されます。

消去した画像を復活する ☞p.122

選択して消去する

4画面／9画面表示で複数の画像を選択し、まとめて削除します。

プロテクトされている画像は消去できません。

1 ▶モードで、ズーム/⊞/Qボタンの⊞を押す

画像が4コマずつ表示されます。⊞をもう一度押すと、画像が9コマずつ表示されます。

2 🗑ボタンを押す

画像に□が表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で削除する画像に移動し、OKボタンを押す

画像が選択され、☑が表示されます。
ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押すと、押している間だけ選択した画像が1画面表示されるので、削除したい画像かどうかを確認できます（離すと4画面／9画面表示に戻ります）。ただし、プロテクトされた画像は1画面表示できません。

4 🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

5 十字キー(▲▼)で「選択消去」を選ぶ

6 OKボタンを押す

選択した画像が消去されます。

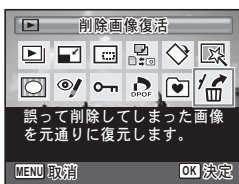
消去した画像を復活する

このカメラで撮影した画像であれば、いったん消去してしまっても元に戻すことができます。

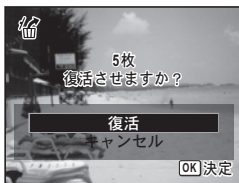
画像を消去後、撮影／画像プロテクト／DPOF設定／リサイズ／トリミングなどのデータ書き込み操作やフォーマットをしたり、SDメモリーカードを取り出すと、手順3で「処理できる画像がありません」とメッセージが表示され、消去した画像の復活ができなくなります。

1 消去を実行した後に、十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で 🗑（削除画像復活）を選ぶ

3 OKボタンを押す

復活可能な画像の枚数が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「復活」を選ぶ

5 OKボタンを押す

画像の消去が取り消され、元に戻ります。

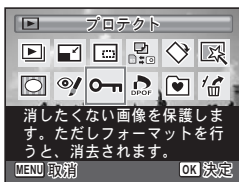
- 復活させた画像は、消去する前と同じファイル名になります。
- 削除画像の復活ができるのは、999枚までです。

消去できないようにする（プロテクト）

記録した画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。

1 ▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

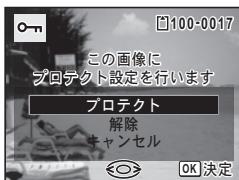
2 十字キー（▲▼◀▶）でO┳（プロテクト）を選ぶ

3 OKボタンを押す

「1画像」または「全画像」を選択する画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「1画像」を選ぶ

5 OKボタンを押す

「この画像にプロテクト設定を行います」とメッセージが表示されます。別の画像をプロテクトする場合は、十字キー（◀▶）で画像を選びます。

6 十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

7 OKボタンを押す

選択した画像がプロテクトされます。

- プロテクトを解除するには、手順6で「解除」を選びます。
- プロテクトされている画像には、再生時にファイル番号の下に 🔑 が表示されます。
- 「1画像」で続けてプロテクトできる画像は99個までです。

すべての画像をプロテクトするには

1 ▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で O-т（プロテクト）を選ぶ

3 OKボタンを押す

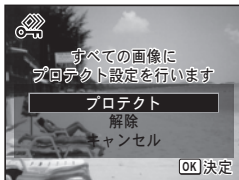
「1画像」または「全画像」を選択する画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「全画像」を選ぶ

5 OKボタンを押す

4

画像の再生と消去

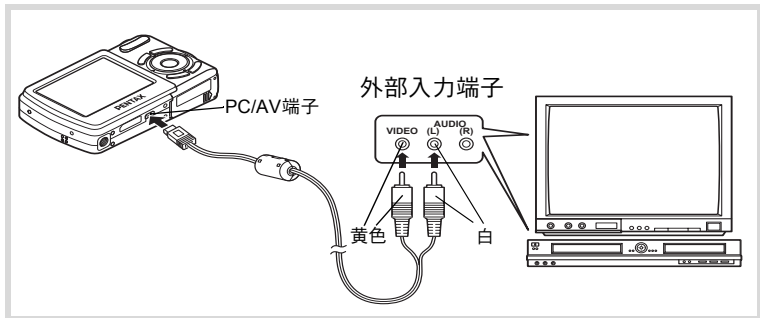
6 十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

7 OKボタンを押す

すべての画像がプロテクトされます。

SDメモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされている画像も消去されます（p.152）。

手順6で「解除」を選ぶと、すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

AV機器と接続する

付属のAVケーブル（I-AVC7）を使用すると、テレビなどのビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1 カメラのPC/AV端子に、付属のAVケーブルを接続する

AVケーブルの端子の⇦を、カメラのPC/AV端子の◀側に向けて接続してください。

2 AVケーブルのもう一方の端子（映像：黄色、音声：白）を、AV機器の映像入力端子と音声入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

3 AV機器の電源をオンにする

カメラを接続した機器と、画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源をオンにします。
複数の映像入力端子があるAV機器（テレビなど）で画像を見る場合は、ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続している映像入力端子を選択してください。

4 カメラの電源をオンにする

- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキット（K-AC62J）のご使用をお勧めします。
- 国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください（p.162）。
- AV機器に接続している間は、カメラの画像モニターはオフになります。
- AV機器に接続している間は、カメラのズーム/♠♠♠/♠ボタンを使った音量調整はできません。

5 画像の編集と印刷

画像のサイズを変更する（リサイズ）

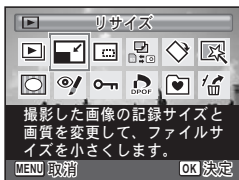
選択した画像の記録サイズを変更して、元の画像よりもファイルサイズを小さくすることができます。SDメモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、続けて撮影ができます。

- 2.1M で撮影された画像やパノラマ撮影された画像、動画はリサイズできません。
- 元の画像よりも大きいサイズやきれいな画質は選択できません。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で（リサイズ）を選ぶ

4 OKボタンを押す

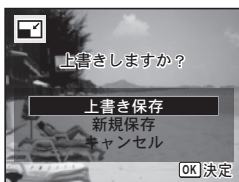
記録サイズを選択する画面が表示されます。

5 「記録サイズ」を選択する

十字キー（◀▶）で選択します。

6 OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、このタイミングで新規保存され、次の確認画面は表示されません。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OK ボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

画像をトリミングする

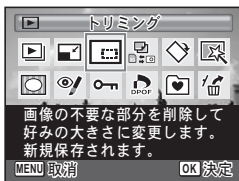
画像周囲の不要な部分をカットして、別の画像として保存します。

2.1M で撮影された画像やパノラマ撮影された画像、動画はトリミングできません。

1 ▶ モードに入り、十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で⬚（トリミング）を選ぶ

4 OKボタンを押す

トリミングを行う画面が表示されます。
画面にはトリミングできる最大の範囲が緑の枠で表示されます。この範囲を越えてトリミングはできません。

5 トリミング条件を選ぶ

以下の操作で緑の枠を動かして、画面のどの部分をトリミングするか決めます。

ズーム/⊞/🔍ボタン	トリミングサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を移動する
グリーンボタン	トリミング範囲を回転する

6 OKボタンを押す

トリミングされた画像が新しいファイル名で保存されます。
記録サイズは、トリミングサイズに応じて自動的に設定されます。

デジタルフィルターを使う

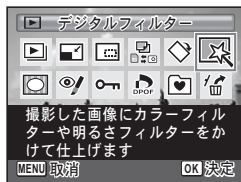
選択した画像の色調を変えたり特殊な加工を施します。

白黒フィルター	白黒のフィルターをかけた画像にします。
セピアフィルター	セピアのフィルターをかけた画像にします。
カラーフィルター	選択したカラーフィルターをかけた画像にします。赤／桃／紫／青／緑／黄の6種類のフィルターがあります。
明るさフィルター	明るさを調整します。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で（デジタルフィルター）を選ぶ

4 OKボタンを押す

デジタルフィルターを選択する画面が表示されます。

1 白黒フィルター

2 セピアフィルター

3 カラーフィルター

4 明るさフィルター

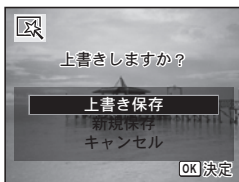
白黒フィルター／セピアフィルターを選んだ場合

5 十字キー（▲▼）で使用するデジタルフィルターを選ぶ

フィルターに応じた加工結果がプレビュー表示されます。

6 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、このタイミングで新規保存され、次の確認画面は表示されません。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OKボタンを押す

フィルターで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ・画質で保存されます。

カラーフィルターを選んだ場合

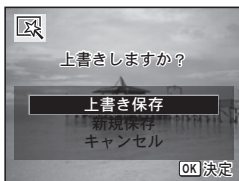
5 十字キー（▲▼）で使用するデジタルフィルターを選ぶ

6 十字キー（◀▶）で効果を調整する

カラーフィルターの場合は、十字キー（▶）を押すごとに、赤→桃→紫→青→緑→黄の順に切り替わります。

7 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、このタイミングで新規保存され、次の確認画面は表示されません。

8 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

9 OKボタンを押す

フィルターで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ・画質で保存されます。

明るさフィルターを選んだ場合

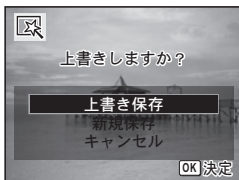
5 十字キー（▲▼）で使用するデジタルフィルターを選ぶ

6 十字キー（◀▶）で効果を調整する

十字キー（▶）で明るく、十字キー（◀）で暗くなります。

7 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、このタイミングで新規保存され、次の確認画面は表示されません。

8 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

9 OKボタンを押す

フィルターで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

パノラマ撮影された画像や動画、他のカメラで撮影した画像はデジタルフィルターで加工できません。再生モードパレットで機能を選択して**OK**ボタンを押すと、エラーメッセージが表示されます。

赤目を補正する

ストロボ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で赤目補正する画像を選ぶ

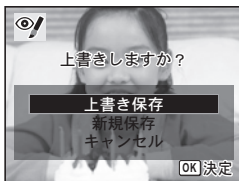
2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で赤目補正アイコン（赤目補正）を選ぶ

4 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、このタイミングで新規保存され、次の確認画面は表示されません。

5 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

6 OKボタンを押す

赤目補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ・画質で保存されます。

- パノラマ撮影された画像や動画、カメラ側で赤目画像と特定できなかった画像は赤目補正できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。
- 赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

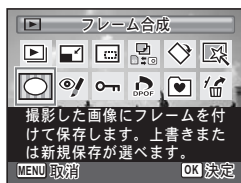
フレーム合成をする

撮影した静止画に、フレーム（飾り枠）を合成します。あらかじめ90種類のフレームが登録されています。

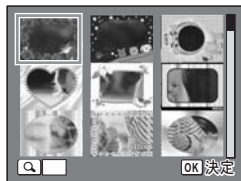
1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）でフレーム合成する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で（フレーム合成）を選ぶ

4 OKボタンを押す

フレーム選択の9分割画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼◀▶）で使用するフレームを選ぶ

6 ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押す

選んだフレームが1画面表示されます。

フレームは次の方法で選び直すことができます。

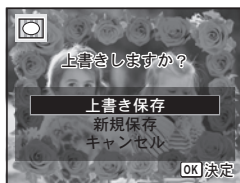
十字キー（◀▶）	別のフレームを選択
ズーム/⊞/🔍ボタン（⊞）	フレーム選択の9分割画面に戻り、手順5と同様の操作で別のフレームを選択

7 OKボタンを押す

画像の位置調整の拡大／縮小を行う画面が表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像の位置を調整し、ズーム/⊞/🔍ボタンで画像の拡大／縮小ができます。

8 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、このタイミングで新規保存され、次の確認画面は表示されません。

9 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

10 OKボタンを押す

フレームが合成された画像が、3Mの記録サイズで保存されます。

2.1Mで撮影された画像やパノラマ撮影された画像、動画、3Mより小さいサイズの画像は、フレームが合成できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。

オプションのフレーム画像について
Optio E70の内蔵メモリーには、オプションのフレームが登録されています。このオプションフレームは、パソコンから内蔵メモリーのファイルを削除したり、カメラをリセットすると削除されます。オプションフレームを内蔵メモリーに再度登録する場合は、付属のCD-ROM（S-SW87）からコピーしてください。

フレーム画像のコピーのしかた

1 カメラからSDメモリーカードを抜く

SDメモリーカードがセットされていると、内蔵メモリーではなく、SDメモリーカードにコピーされます。

2 付属のUSBケーブル（I-USB7）でパソコンとカメラを接続する

接続のしかたは、第7章「パソコンと接続する」をご覧ください。

3 デバイス検出の画面が表示されたら、「キャンセル」をクリックする

4 CD-ROM（S-SW87）をパソコンにセットする

5 インストール画面が表示されたら、「EXIT」をクリックする

6 カメラ（リムーバブルディスク）のルートディレクトリにFRAMEフォルダがない場合は作成する

7 CD-ROM のルートディレクトリにある FRAME フォルダから、コピーしたいファイルをカメラ（リムーバブルディスク）のFRAMEフォルダにコピーする

パソコンのファイル操作については、お使いのパソコンの説明書などをご覧ください。

8 パソコンとカメラからUSBケーブルを外す

第7章「パソコンと接続する」を参考にして外してください。

- 内蔵メモリーとSDメモリーカードの両方にフレームが登録できますが、数が多くなると処理に時間がかかる場合があります。

新しく入手したフレームを使う

ペンタックスのホームページなどから入手したフレームを使用して、フレームを合成することもできます。

- ダウンロードしたフレームは解凍して、内蔵メモリーやSDメモリーカードのFRAMEフォルダにコピーしてください。
- FRAMEフォルダは、SDメモリーカードを本機でフォーマットすると作成されます。
- ダウンロードの手順などの詳細は、当社ホームページをご覧ください。

画像をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像をコピーします。カメラにSDメモリーカードが入っていないと、この機能は選択できません。

SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1 **▶モードで十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

2 **十字キー（▲▼◀▶）で 画像コピーアイコン（画像コピー）を選ぶ**

3 **OKボタンを押す**

コピー方法を選択する画面が表示されます。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

内蔵メモリー内のすべての画像をSDメモリーカードにコピーします。画像をコピーする前に、SDメモリーカードに充分な容量があることを確認してください。

4 十字キー（▲▼）を押して「●➡SD」を選ぶ

5 OKボタンを押す

すべての画像がコピーされます。

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

SDメモリーカード内の画像を1つずつ選んで、内蔵メモリーにコピーします。

4 十字キー（▲▼）を押して「SD➡●」を選ぶ

5 OKボタンを押す

6 十字キー（◀▶）でコピーする画像を選ぶ

7 OKボタンを押す

選択した画像がコピーされます。

メモ
SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合は、新しいファイル名で画像がコピーされます。

DPOFの設定をする

DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した静止画像に、プリントのための情報を記録するためのフォーマットです。撮影した静止画にDPOFを設定すると、DPOF対応プリンターやプリントサービス店でDPOFの設定に従ったプリントができます。
動画ファイルには、DPOF は設定できません。

「日付写し込み」（p.93）で日付／時刻を写し込んだ画像には、DPOF設定で「日付」を☑（オン）にしないでください。☑（オン）にすると、日付が重なって印刷されます。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、以下の項目を設定します。

枚数	プリントする枚数を設定します。99枚まで設定できます。
日付	画像に日付をプリントするかしないかを設定します。

1 ▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）でDPOF（DPOF）を選ぶ

3 OKボタンを押す

「1画像」または「全画像」を選択する画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「1画像」を選ぶ

5 OKボタンを押す

「この画像にDPOF設定を行います」とメッセージが表示されます。
別の画像にDPOFを設定する場合は、十字キー（◀▶）で画像を選択します。
すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付の☑（オン）／□（オフ）が表示されます。

6 十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

7 グリーンボタンを押し、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑（オン）　日付をプリントする
□（オフ）　日付をプリントしない

その他の画像にもDPOFを設定したい場合は、十字キー（◀▶）で画像を選び、手順6～7を繰り返します。

8 OKボタンを押す

設定が保存され、DPOF設定の最初の画面に戻ります。

プリンターやプリントサービス店のプリント機器によっては、DPOF設定で「日付」をオンにしても日付がプリントされないことがあります。

DPOF設定を解除する場合は、手順6で枚数を「00」に設定して、**OK**ボタンを押します。

全画像を設定する

カメラに保存されているすべての画像に同じ「枚数」「日付」の設定を適用します。

1 ▶モードでDPOFを設定する画面を表示する

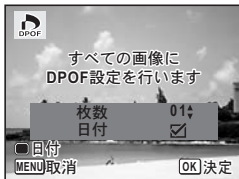
p.142の手順1～3をご覧ください。

2 十字キー（▲▼）で「全画像」を選ぶ

3 OKボタンを押す

「すべての画像にDPOF設定を行います」とメッセージが表示されます。

4 プリント枚数と日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

設定のしかたは「1画像ずつ設定する」の手順6～7（p.143）をご覧ください。

5 OKボタンを押す

設定した値で全画像の設定が保存され、DPOF設定の最初の画面に戻ります。

注意　全画像設定では、すべての画像に同じプリント枚数が設定されます。プリントをする前に、必ず枚数の設定が正しいか確認してください。

メモ　「全画像」で設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。

カメラとプリンターをつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB7）でカメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくてもカメラから直接画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数などは、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

- カメラをプリンターに接続するときは、別売の AC アダプターキット（K-AC62J）のご使用をお勧めします。プリンターと通信中に電池が消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- データ転送中は、USBケーブルを抜かないでください。
- 「日付写し込み」（p.93）で日付／時刻を写し込んだ画像には、PictBridgeで「日付」を☑（オン）にしないでください。☑（オン）にすると、日付が重なって印刷されます。
- プリンターの機種によっては、カメラ側の設定（印刷設定／DPOF設定など）が一部反映されないことがあります。
- 設定したプリント枚数が500枚以上になる場合は、正しくプリントされないことがあります。
- 1枚の用紙に複数画像をプリントする設定はカメラではできません。プリンター側で設定するか、パソコンを使って印刷してください。

カメラをプリンターに接続する

1　「🔧設定」メニューの「USB接続」を「PictBridge」に設定する

「USB接続モードを変更する」（p.161）をご覧ください。

2　カメラの電源をオフにする

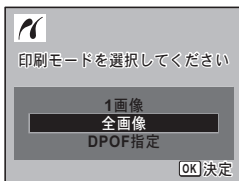
3　USBケーブルでカメラをプリンターに接続する

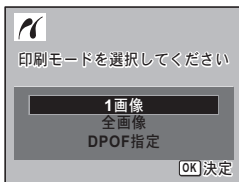
4　プリンターの電源をオンにする

5 プリンターの起動が完了したら、カメラの電源をオンにする

印刷モードを選択する画面が表示されます。

続けて以下のページに進んでください。

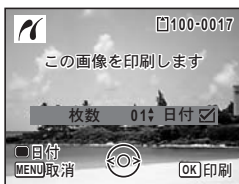
- 「1画像ずつプリントする」（p.146）
- 「全画像をプリントする」（p.148）
- 「DPOFの設定でプリントする」（p.149）

1画像ずつプリントする

1 印刷モードを選択する画面で十字キー(▲▼)を押して､｢1画像｣を選ぶ

2 OKボタンを押す

印刷条件を設定する画面が表示されます。

3 十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

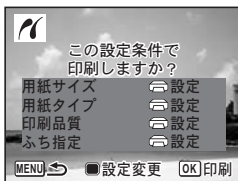
4 十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定できます。

5 グリーンボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑（オン）　日付をプリントする

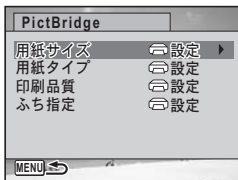
□（オフ）　日付をプリントしない

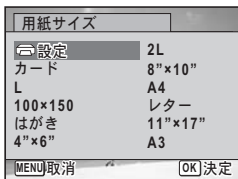
6 OKボタンを押す

印刷設定を確認する画面が表示されます。プリンター側の印刷設定でプリントするときは、OKボタンを押します。
印刷設定を変更するときは、手順7へ進みます。

7 グリーンボタンを押す

印刷設定の変更画面が表示されます。

8 「用紙サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す

用紙サイズの選択画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼◀▶）で用紙サイズを選ぶ

お使いのプリンターで印刷可能な用紙だけが選択できます。

10 OKボタンを押す

用紙サイズの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。

11 十字キー(▲▼) で「用紙タイプ」を選び、十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

12 十字キー（▲▼）で用紙タイプを選び、OKボタンを押す

用紙タイプの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。引き続き、手順11～12と同様の操作で「印刷品質」「ふち指定」を設定します。それぞれ「⊟設定」を選択するとプリンター側の設定に従います。
用紙タイプは、★の数が多いほど高品質な用紙に対応します。
印刷品質は、★の数が多いほど高品質な印刷を行います。
各項目の設定が終了するごとに、印刷設定を確認する画面が表示されます。

13 MENUボタンを押す

印刷設定を確認する画面に戻ります。

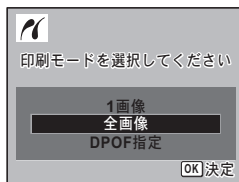
14 OKボタンを押す

設定した値で印刷が開始されます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

メモ

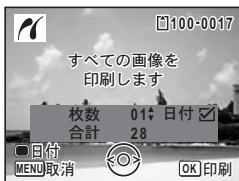
- プリンターと通信中はセルフタイマーランプが点灯、カードアクセス中、プリント中はセルフタイマーランプが点滅してお知らせします。セルフタイマーランプ点滅中は、USBケーブルを外さないでください。
- 「用紙サイズ」「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」の設定は、カメラの電源を切ると、ご購入時の状態に戻ります。

全画像をプリントする

1 印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「全画像」を選ぶ

2 OKボタンを押す

印刷する条件を設定する画面が表示されます。

3 プリント枚数、日付プリントの有無を設定する

全画像を何枚ずつプリントするか、日付をプリントするかどうかを選びます。
設定のしかたは「1画像ずつプリントする」の手順4～5（p.146）をご覧ください。

4 OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.147）をご覧ください。

5 印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した条件で全画像のプリントが開始されます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

DPOFの設定でプリントする

1 印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「DPOF指定」を選ぶ

2 OKボタンを押す

DPOF設定の内容が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像ごとの印刷枚数、日付の有無、プリント合計枚数を確認できます。DPOF設定については、p.142をご覧ください。

3 OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.147）をご覧ください。

4 印刷設定の確認画面で**OK**ボタンを押す

設定した内容でプリントされます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

プリンターからケーブルを外す

プリントが終了したら、USBケーブルをカメラとプリンターから外します。

1 カメラとプリンターの電源をオフにする

2 カメラとプリンターからUSBケーブルを外す

6 設定

カメラの設定をする

SDメモリーカードをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。
未使用または他のカメラやデジタル機器で使用したSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマットしてからご使用ください。

- SD メモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像や、このカメラ以外で記録したデータも消去されます。ご注意ください。
- パソコンなどこのカメラ以外の機器でフォーマットされた SD メモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットしてください。
- 異常があったとき以外は、内蔵メモリーはフォーマットできません。

1 ▶モードでMENUボタンを押す

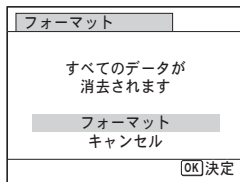
「設定」メニューが表示されます。
モードでMENUボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「フォーマット」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「フォーマット」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「フォーマット」を選ぶ

6
設定

5 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。
フォーマットが終わると、📷モードまたは▶モードに戻ります。

サウンドの設定を変更する

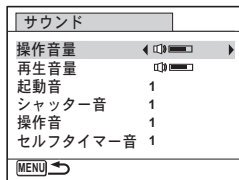
操作音の音量と音の種類を変更できます。

1 ▶モードでMENUボタンを押す

「🔧設定」メニューが表示されます。
📷モードでMENUボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「サウンド」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「サウンド」画面が表示されます。

操作音量／再生音量を変更する

4 十字キー（▲▼）を押して「操作音量」を選ぶ

5 十字キー（◀▶）を押して音量を調節する

音量を0にすると起動音・シャッター音・操作音・セルフタイマー音は鳴りません。

6 手順4〜5と同様の操作で「再生音量」を設定する

音の種類を変更する

4 十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で音の種類を選ぶ

「1」「2」「3」「オフ」から選択します。

7 OK ボタンを押す

8 手順4～7と同様の操作で「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」を設定する

9 MENUボタンを押す

「🔧設定」メニューに戻ります。

日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。

1 ▶モードでMENUボタンを押す

「🔧設定」メニューが表示されます。
📷モードで**MENU**ボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「日時設定」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「日時設定」画面が表示されます。

4 十字キー（▶）を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。
初期設定や、前回の設定によっては、「月/日/年」または「日/月/年」で表示されていることもあります。

日時設定
表示スタイル ▶年/月/日 24h
日付 2009/01/01
時刻 0:00
MENU 取消 OK 決定

5 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを選ぶ

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選択します。

日時設定
表示スタイル ◀ 年/月/日 24h
日付 2009/01/01
時刻 0:00
MENU 取消 OK 決定

6 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

7 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を選ぶ

8 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

9 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

10 十字キー（▶）を押す

手順5で設定した表示スタイルに従って、選択枠が下記の項目に移動します。

「年/月/日」の場合　西暦年（例：「2009」年）
「月/日/年」の場合　月（例：「01」月）
「日/月/年」の場合　日（例：「01」日）

以下の操作手順や画面は、「年/月/日」に設定した場合です。他の表示スタイルに設定した場合でも、操作方法は同様です。

11 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

12 十字キー（▶）を押す

選択枠が「月」に移動します。十字キー（▲▼）で月を設定します。月を設定後は、同様の操作で日を設定します。

13 手順8～11と同様の操作で、時刻を設定する

手順7で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

14 OKボタンを押す

15 OKボタンを押す

日時の設定が保存されます。

メモ

手順15で**OK**ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK**ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定ができます。

ワールドタイムを設定する

「日時を設定する」（p.41）や「日時を変更する」（p.154）で設定した日時は、⌂（現在地）の日時として設定されます。「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用するとき、画像モニターに✈（目的地）として設定した国や地域の日時を表示できます。

目的地を設定する

1 ▶モードでMENUボタンを押す

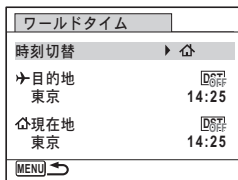
「🔧設定」メニューが表示されます。
📷モードでMENUボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「ワールドタイム」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

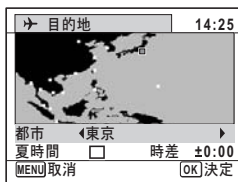
「ワールドタイム」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で✈（目的地）を選ぶ

ワールドタイム
時刻切替 ▶ ⌂
✈目的地 DST OFF
東京 14:25
⌂現在地 DST OFF
東京 14:25
MENU ↩

5 十字キー（▶）を押す

「目的地」画面が表示されます。現在設定されている都市が地図上で点滅表示されます。

6 十字キー（◀▶）で、目的地の都市名を選ぶ

選択した都市の現在時刻・位置・時差が表示されます。

7 十字キー（▲▼）で「夏時間」を選ぶ

8 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

目的地が夏時間を採用している場合は、☑（オン）にします。

9 OKボタンを押す

目的地の設定が保存されます。

10 MENUボタンを2回押す

設定した内容で撮影できる状態になります。

メモ p.157の手順4で⌂（現在地）を選ぶと現在地の都市と夏時間を設定できます。

目的地の日時をカメラに表示させる（時刻切替）

1 ▶モードでMENUボタンを押す

「🔧設定」メニューが表示されます。
📷モードでMENUボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「ワールドタイム」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

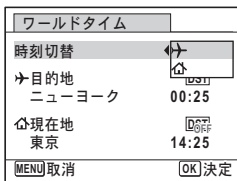
4 十字キー（▲▼）で「時刻切替」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で✈（目的地）／⌂（現在地）を切り替える

✈　目的地の都市の時刻を表示
⌂　現在地の都市の時刻を表示

ワールドタイム
時刻切替 ✈ ⌂
✈目的地 DST
ニューヨーク 00:25
⌂現在地 DST OFF
東京 14:25
MENU取消 OK決定

7 OKボタンを押す

設定が保存されます。

8 MENUボタンを2回押す

📷モードまたは▶モードに戻ります。
ワールドタイムに切り替えた場合は、📷モードにしたときに画像モニターに目的地の日時が表示されていることを示す✈アイコンが表示されます。

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。
英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／ポルトガル語／イタリア語／オランダ語／日本語／デンマーク語／スウェーデン語／フィンランド語／ポーランド語／チェコ語／ハンガリー語／トルコ語／ギリシャ語／ロシア語／タイ語／韓国語／中国語（繁体字/簡体字）の20言語に対応しています。

1 ▶モードでMENUボタンを押す

「🔧設定」メニューが表示されます。
📷モードで**MENU**ボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「Language/言語」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼◀▶）で表示させたい言語を選ぶ

Language/言語

English	日本語	Türkçe
Français	Dansk	Ελληνικά
Deutsch	Svenska	Русский
Español	Suomi	ไทย
Português	Polski	한국어
Italiano	Čeština	中文繁體
Nederlands	Magyar	中文简体

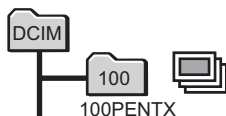
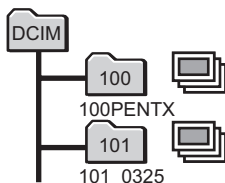
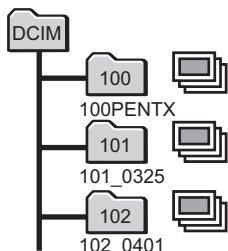
MENU 取消　　OK 決定

5 OKボタンを押す

選択した言語でメニューやメッセージが表示されるようになります。

フォルダ名の付け方を変更する

画像が保存されるフォルダ名の付け方を変更できます。「日付」に設定すると写真は撮影日ごとに違うフォルダに保存されます。

日付	xxx_mmdd（3桁のフォルダ番号_月日） ※ 日付の表示スタイルが「日/月/年」に設定されている場合は、xxx_ddmm（3桁のフォルダ番号_日月）になります。
標準	xxxPENTX（xxxは3桁のフォルダ番号）

6 設定

1 ▶モードでMENUボタンを押す

「🔧設定」メニューが表示されます。
📷モードでMENUボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「フォルダ名」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「標準」「日付」を切り替える

5 OKボタンを押す

設定が保存されます。

USB接続モードを変更する

カメラをUSBケーブルで接続するときの接続先を設定します。

必ずパソコンまたはプリンターと接続する前に設定してください。USBケーブルでカメラとパソコン／プリンターが接続された状態では設定できません。

パソコンとの接続については、第7章「パソコンと接続する」をご覧ください。

1 ▶モードでMENUボタンを押す

「🔧設定」メニューが表示されます。
📷モードでMENUボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「USB接続」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「PC」「PictBridge」を切り替える

PC　　　　：パソコンに画像を転送する場合
PictBridge：PictBridge対応のプリンターに接続する場合

設定　1/3
サウンド
日時設定　2009/02/02
ワールドタイム
Language/言語　日本語
フォルダ名　PC
USB接続　PictBridge
MENU取消　OK決定

5 OKボタンを押す

設定が保存されます。

「USB接続」で「PictBridge」に設定してカメラをパソコンに接続しないでください。また、「PC」に設定してカメラをプリンターに接続しないでください。

カメラとプリンターをつないでプリントする ☞p.145

ビデオ出力方式を選択する

カメラとAV機器を接続して撮影や再生をするときのビデオ出力方式を、NTSCとPALから選択します。

1 ▶モードでMENUボタンを押す

「設定」メニューが表示されます。
📷モードでMENUボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

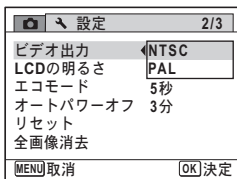
2 十字キー（▲▼）を押し、「ビデオ出力」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で出力方式を選ぶ

接続するAV機器に合わせてビデオ出力方式を選択します。

📷	🔧 設定	2/3
ビデオ出力	NTSC	
LCDの明るさ	PAL	
エコモード	5秒	
オートパワーオフ	3分	
リセット		
全画像消去		
MENU 取消		OK 決定

5 OKボタンを押す

設定が保存されます。

国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。

AV機器と接続する ☞p.126
都市別のビデオ出力方式 ☞p.203

画像モニターの明るさを設定する

画像モニターの明るさを設定できます。

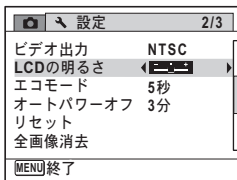
1 ▶モードでMENUボタンを押す

「🔧設定」メニューが表示されます。
📷モードで**MENU**ボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「LCDの明るさ」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で明るさを調整する

- 暗
- 標準
- 明

📷	🔧 設定	2/3
ビデオ出力	NTSC	
LCDの明るさ		
エコモード	5秒	
オートパワーオフ	3分	
リセット		
全画像消去		
MENU 終了		

4 MENUボタンを押す

📷モードまたは▶モードに戻ります。
画像モニターは、設定した明るさになります。

節電機能を使う（エコモード）

一定時間操作しないときに、画像モニターの明るさが自動的に暗くなるように設定することで、電池の消耗を軽減します。節電機能が働き、画像モニターが暗くなった場合は、何かのボタン操作をすると、元の明るさに戻ります。

1 ▶モードでMENUボタンを押す

「設定」メニューが表示されます。
モードでMENUボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

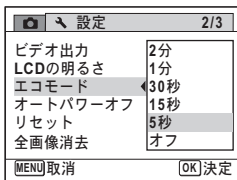
2 十字キー（▲▼）を押し、「エコモード」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）でエコモードに切り替わるまでの時間を選ぶ

「2分」「1分」「30秒」「15秒」「5秒」「オフ」から選択します。

設定 2/3
ビデオ出力
LCDの明るさ
エコモード
オートパワーオフ
リセット
全画像消去
2分
1分
30秒
15秒
5秒
オフ
MENU 取消　OK 決定

5 OKボタンを押す

設定が保存されます。

- 以下の場合は、エコモードになりません。
  - 連続撮影で撮影中
  - 再生モード中
  - 動画撮影中
  - パソコン／プリンター接続中
  - ACアダプター使用時
  - メニュー表示中
- 「5秒」に設定されている場合、電源をオンにした後に何も操作しないと、15秒後にエコモードになります。

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 ▶モードでMENUボタンを押す

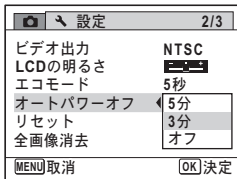
「🔧設定」メニューが表示されます。
📷モードでMENUボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「オートパワーオフ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）でオートパワーオフになるまでの時間を選ぶ

「5分」「3分」「オフ」から選択します。

5 OKボタンを押す

設定が保存されます。

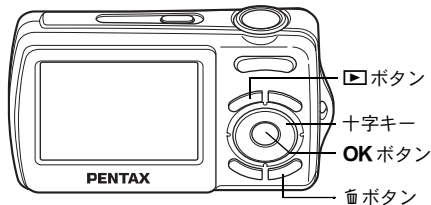
以下の場合は、オートパワーオフになりません。

- 連続撮影で撮影中
- 動画撮影中
- スライドショウ／動画再生中
- パソコン／プリンター接続中

6 設定

全画像を消去する

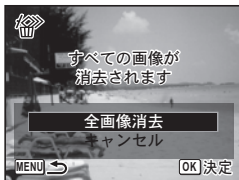
保存されているすべての画像を消去します。

プロテクトされている画像は消去できません（p.123)。

1 モードで ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

2 ボタンを押す

すべての画像の消去を確認する画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「全画像消去」を選ぶ

4 OK ボタンを押す

すべての画像が消去されます。

消去した画像を復活する ☞p.122

6 設定

設定をリセットする

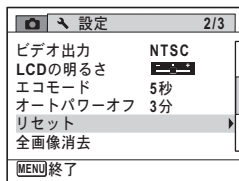
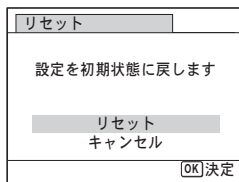
カメラの設定内容をご購入時の状態に戻します。リセットされる項目については「初期設定一覧」(p.199)をご覧ください。

1 ▶モードでMENUボタンを押す

「設定」メニューが表示されます。
📷モードでMENUボタンを押したときは、十字キー（▶）を1回押します。

2 十字キー（▲▼）を押し、「リセット」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「リセット」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「リセット」を選ぶ

5 OKボタンを押す

設定がリセットされます。

以下の設定はリセットされません。

- 日時設定
- ワールドタイム
- Language/言語
- ビデオ出力

7 パソコンと接続する

準備する

本製品に付属するCD-ROMに収録されているソフトウェアをお手持ちのパソコンにインストールし、デジタルカメラとパソコンをUSBケーブルで接続すると、デジタルカメラで撮影した画像や動画をパソコン上に転送し、閲覧や管理をすることができます。ここでは、付属ソフトウェア「ACDSee for PENTAX 3.0」「ACDSee 2 for Mac」のインストールなど、デジタル写真と動画をパソコンで楽しむために必要な準備についてご説明します。

付属ソフトウェア

付属のCD-ROM（S-SW87）には、次のソフトウェアが収録されています。

Windows
- 「ACDSee for PENTAX 3.0」（画像閲覧・管理・編集ソフト）

Macintosh
- 「ACDSee 2 for Mac」（画像閲覧・管理ソフト）

カメラをパソコンに接続するときはAC電源の使用をお勧めします。画像の転送中にバッテリーが消耗すると、画像データが壊れることがあります。AC電源をご使用の際は、カメラ本体とACコードを正しく接続してください。

システム環境

デジタルカメラで撮影した画像や動画をパソコンでお楽しみいただくには、以下のシステム環境が必要です。

Windows パソコンの場合

USB接続、付属アプリケーションソフトともにWindows 95、Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows NTには対応しておりません。

●USB接続

- Windows 2000、Windows XP、Windows Vistaがプリインストールされたパソコン（最新バージョンにアップデートされていること）
- USBポートが標準で搭載されていること

●アプリケーションソフト

<ACDSee for PENTAX 3.0>

（9言語対応：英・仏・独・西・伊・露・中[繁体字/簡体字]・韓・日）

- OS　Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
- CPU　Pentium III 以上
- メモリ　256MB以上（512MB以上推奨）
- ハードディスクの空き容量　100MB以上（1GB以上推奨）
- CD-ROMドライブ
- Internet Explorer 5.0以降

※動画ファイルを表示させるには、DirectX 9.0以降、Windows Media Player 9.0以降が必要です。
※対象OSがプリインストールされたパソコンで、最新のバージョンにアップデートされているものに限ります。
※すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※推奨環境は、動画の再生・編集をするのに必要な最低環境です。

「ACDSee for PENTAX 3.0」のご使用に必要なバージョンのInternet Explorer、Windows Media PlayerおよびDirectXは、本製品に付属のCD-ROM（S-SW87）からはインストールされません。必要に応じて以下のサイトからダウンロードし、インストールしてください。

- Internet Explorer
  http://www.microsoft.com/japan/windows/products/winfamily/ie/default.mspx
- Windows Media Player
  http://www.microsoft.com/japan/windows/products/winfamily/mediaplayer/default.mspx
- DirectX
  http://www.microsoft.com/japan/windows/directx/default.mspx

Macintosh の場合

●USB接続

- Mac　OS　X（Ver.10.1.2　-　10.5）がプリインストールされたMacintosh（最新バージョンにアップデートされていること）
- USBポートが標準で搭載されていること

●アプリケーションソフト

＜ACDSee 2 for Mac＞
（6言語対応：英・仏・独・西・伊・日）

- OS　　Mac OS X（Ver.10.3 - 10.5）
- CPU　Power Macintosh 233MHz以上
- メモリ　8MB以上
- ハードディスクの空き容量　6MB以上
- CD-ROMドライブ、QuickTime 4.0以降

※対象OSがプリインストールされたパソコンで、最新のバージョンにアップデートされているものに限ります。
※すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

ソフトウェアのインストール

Windowsパソコンの場合

画像閲覧・管理・編集ソフト（ACDSee for PENTAX 3.0）をインストールします。

- お使いのパソコンに必要なシステム環境を整えてから、インストールを始めてください。
- Windows 2000、Windows XP、Windows Vistaで複数のアカウントを設定している場合は、administrator（管理者）権限でログオンしてからインストールを始めてください。

1 パソコンの電源を入れる

2 付属のCD-ROM（S-SW87）をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

画面上に言語を選択する画面が表示されます。

- **Windows Vistaをお使いの場合**
  「自動再生」の画面が表示されたら、以下の手順で言語を選択する画面を表示させます。
  1）「Setup.exeの実行」をクリックする
  2）「許可」をクリックする
  言語を選択する画面が表示されます。

言語を選択する画面が表示されない場合
以下の手順で言語を選択する画面を表示させます。
1）デスクトップ画面から「マイ コンピュータ」をダブルクリックする
2）「CD-ROMドライブ（S-SW87）」のアイコンをダブルクリックする
3）「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする

3 「日本語」をクリックする

ACDSee for PENTAX 3.0のインストール画面が表示されます。

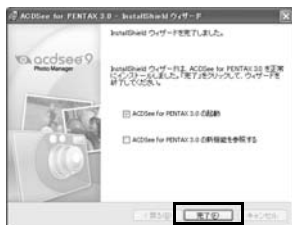
4 「インストール」をクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。

5 「完了」をクリックする

ACDSee for PENTAX 3.0のインストールが完了します。続けてインストール画面の「Exit」をクリックして画面を閉じ、Windowsを再起動してください。

7

パソコンと接続する

Macintoshの場合

画像閲覧・管理ソフト（ACDSee 2 for Mac）をインストールします。

1 Macintoshの電源を入れる

2 付属のCD-ROM（S-SW87）を、MacintoshのCD-ROMドライブにセットする

3 CD-ROM（S-SW87）のアイコンをダブルクリックする

4 「ACDSee Install」のアイコンをダブルクリックする

画面上に言語を選択する画面が表示されます。
「Master Installer」のアイコンが表示されたら、そのアイコンをダブルクリックすると、言語を選択する画面が表示されます。

5 「日本語」をクリックする

ACDSee 2 for Macのインストール画面が表示されます。

6 「インストール」をクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。

7 右の画面が表示されたら、「はい」をクリックする

8 「閉じる」をクリックする

ACDSee 2 for Macのインストールが完了します。
続けてインストール画面の「Exit」をクリックし、画面を閉じてください。

ユーザー登録する

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

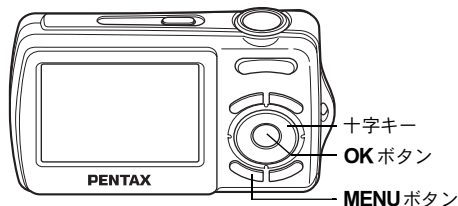
パソコンがインターネットに接続できる環境にあれば、言語選択画面の後に表示されるセットアップ画面で、「ユーザー登録」をクリックします。
図のような地図画面が表示されたら、「Japan」をクリックしてください。弊社ホームページのユーザー登録画面が表示されます。画面の指示に従って、登録の作業を行ってください。

ユーザー登録画面が表示されない場合は、下記アドレスから直接アクセスしてください。

https://service.pentax.jp/pentax/customer/menu.aspx

カメラ側の準備

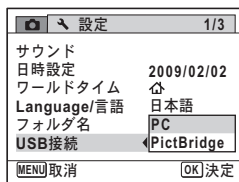
カメラのUSB接続モードを「PC」に設定する

パソコンと接続する前に必ず設定をしてください。USBケーブルでカメラとパソコンが接続された状態では、設定できません。

1 **カメラのMENUボタンを押す**

2 **十字キー（▶）を押して「設定」メニューを表示する**

3 **十字キー（▲▼）を押して「USB接続」を選ぶ**

4 **十字キー（▶）を押す**

ポップアップが表示されます。

5 **十字キー（▲▼）で「PC」を選ぶ**

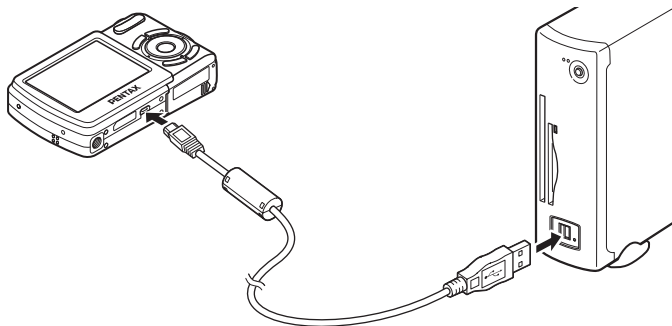
6 **OKボタンを押す**

Windowsパソコンへの転送

カメラとパソコンを接続する

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源がオフの状態で、付属のUSBケーブルでパソコンと接続する

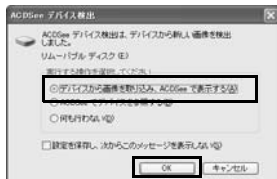
AVケーブルの端子の⇦を、カメラのPC/AV端子の◀側に向けて接続してください。

3 カメラの電源スイッチを押し、電源をオンにする

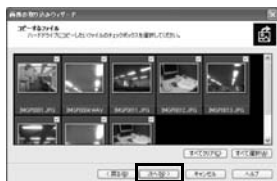
自動的に「デバイス検出」の画面が表示されます。
「デバイス検出」が表示されない場合は、180ページの「デバイス検出が表示されない場合」の手順に従って、画像を表示・コピーしてください。

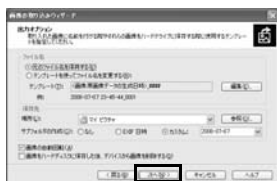
- USB 接続時、パソコンと通信中はセルフタイマーランプが点滅します。
- お気に入り画像に登録した画像やFAVORITEフォルダは、パソコンなどでファイル操作を行わないでください。画像を読み出せなくなる場合があります。

画像を転送する

カメラにSDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーの画像が転送されます。

4 「デバイスから画像を取り込み、ACDSeeで表示する」がチェックされていることを確認して、「OK」をクリックする

5 「次へ」をクリックする

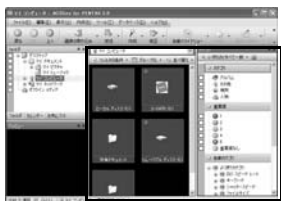
6 コピーする画像を選択し、「次へ」をクリックする

7 「ファイル名」と「保存先」を指定し、「次へ」をクリックする

画像がパソコンにコピーされます。

8 「完了」をクリックする

ACDSee for PENTAX 3.0のブラウザが起動します。

「デバイス検出」が表示されない場合

4 デスクトップ画面の「ACDSee for PENTAX 3.0」アイコンをダブルクリックする

5 「マイコンピュータ」をクリックする

6 「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

メモ

SDメモリーカードにボリュームラベルがついていると、「リムーバブルディスク」と表示されずにボリュームラベル名が表示されます。フォーマットされていない新しいSDメモリーカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

7 「DCIM」フォルダをダブルクリックする

画像は撮影日ごとの名称がついたフォルダ（2月2日であれば「XXX_0202」。「XXX」は3桁のフォルダ番号）に格納されています。
「🔧設定」メニューの「フォルダ名」を「標準」に設定している場合は、「XXXPENTX」（XXXは3桁のフォルダ番号）の名称がついたフォルダが表示され、その中に画像が格納されています。

8 パソコンにコピーしたいフォルダを選択する

9 「編集」メニューから「フォルダにコピー」を選ぶ

「ファイルをコピー」の画面が表示されます。

10 コピー先を指定する

11 「OK」をクリックする

画像がパソコンにコピーされます。

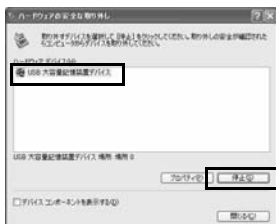
7 パソコンと接続する

パソコンからカメラを取り外す

1 タスクバーの（ホットプラグアイコン）をダブルクリックする

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

2 「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択して「停止」をクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3 「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択して「OK」をクリックする

取り外し許可のメッセージが表示されます。

4 「閉じる」をクリックする

5 USBケーブルをパソコンとカメラから取り外す

- ACDSee for PENTAX 3.0などのアプリケーションで、カメラ（リムーバブルディスク）を使用中の場合は、アプリケーションを終了しないとカメラを取り外すことはできません。
- カメラまたはパソコンからUSBケーブルを取り外すと、自動的に再生専用モードに切り替わります。

Macintoshへの転送

カメラとMacintoshを接続する

1 Macintoshの電源を入れる

2 カメラの電源がオフの状態で、付属のUSB ケーブルでMacintoshと接続する

カメラにSDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーの画像が転送されます。

3 カメラの電源スイッチを押し、電源をオンにする

カメラはデスクトップに「NO_NAME」として認識されます。

お気に入り画像に登録した画像やFAVORITEフォルダは、Macintoshなどでファイル操作を行わないでください。画像を読み出せなくなる場合があります。

- SDメモリーカードにボリュームラベルがついていると、「NO_NAME」と表示されずにボリュームラベル名が表示されます。フォーマットされていない新しいSDメモリーカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。ボリュームラベル名は変更できます。
- USB接続時、Macintoshと通信中はセルフタイマーランプが点滅します。

画像を転送する

4 保存先を指定し、「ACDSeeを起動」がチェックされていることを確認して、「ダウンロード」をクリックする

画像が Macintosh にコピーされ、コピーが完了すると、ACDSee 2 for Macのブラウザが起動します。

- 「デバイスから画像を削除」をチェックすると、転送終了後、カメラから画像が削除されます。
- カメラ内の画像の表示は、画像を転送しなくても、Macintosh に接続したカメラから直接行うことができます。

Macintoshからカメラを取り外す

1 デスクトップ上の「NO_NAME」をゴミ箱にドラッグする

SD メモリーカードにボリュームラベル名が付いている場合は、その名称のアイコンをゴミ箱にドラッグします。

2 USBケーブルをMacintoshとカメラから取り外す

- ACDSee 2 for Macなどのアプリケーションで、カメラ（リムーバブルディスク）を使用中の場合は、アプリケーションを終了しないとカメラを取り外すことはできません。
- カメラまたはMacintoshからUSBケーブルを取り外すと、自動的に再生専用モードに切り替わります。

付属のソフトウェアを使う

ACDSee for PENTAX 3.0を使用して、画像の表示・編集・管理・検索・共有・印刷をすることができます。

ACDSee for PENTAX 3.0を起動する

Windows パソコンの場合

1 デスクトップ画面の「ACDSee for PENTAX 3.0」アイコンをダブルクリックする

ACDSeeが起動し、ブラウザと呼ばれるメインウィンドウが表示されます。

ACDSeeブラウザの構成

*画面は初期設定時のものです。

A **メニューバー**
様々なメニューコマンドにアクセスできます。

B **ツールバー**
頻繁に使われるタスクや機能へのショートカットにアクセスできます。

C **フォルダペイン**
ご使用のコンピュータのフォルダ構造が表示されます。フォルダ内を参照すると、その内容がファイル一覧ペインに表示されます。

D **プレビューペイン**
ファイル一覧ペインで現在選択されている画像、またはメディアファイルのプレビューが表示されます。プレビュー画像のサイズを変更したり、メディアファイルを再生することが可能です。

E **ファイル一覧ペイン**
現在選択されたフォルダの内容や、最後に行った検索結果（検索にマッチしたファイルやフォルダ）などが表示されます。このペインはブラウザ内で常に表示されるペインで、隠したり閉じることはできません。

F **カテゴリペイン**
カテゴリや重要度などが一覧表示されます。カテゴリペイン内の項目に、ファイル一覧ペインからファイルをドラッグ＆ドロップすると、ファイルにカテゴリや重要度などを設定することができます。

G **バスケットペイン**
ファイル一覧ペインで選択されたファイルが表示されます。気に入った画像やファイルをバスケットペインに入れることで、異なるフォルダやカテゴリーにある画像に編集や作成機能を使うことができます。

H **ステータスバー**
選択したファイルの情報やプロパティが表示されます。

画像を見る

1　ACDSeeブラウザの「フォルダペイン」で、見たい画像が保存されているフォルダを選び、クリックする

「ファイル一覧ペイン」に、画像の一覧が表示されます。

2　「ファイル一覧ペイン」で、見たい画像を選びダブルクリックする

選んだ画像が「ビューア」で表示されます。
「ビューア」では、画像の拡大／縮小表示や編集などができます。また動画／音声の再生をすることもできます。

Quick View

ACDSeeを起動させずに、Windows上の画像ファイルを直接ダブルクリックすると、「Quick View」で表示されます。(動画／音声ファイルはダブルクリックしても、ACDSeeで表示／再生できません。)
「Quick View」でも画像の拡大／縮小表示ができます。
「Quick View」表示中に「フルビューア」をクリックすると、「ビューア」表示に切り替わります。
「Photo Manager」をクリックすると、ACDSeeブラウザに表示が切り替わります。

ACDSee for PENTAX 3.0の詳しい使い方を調べる

ACDSee for PENTAX 3.0の詳しい使い方は、ヘルプで調べることができます。

1 画面右上の［?］アイコンをクリックする

ヘルプ画面が表示されます。

2 調べたい項目をダブルクリックする

Macintoshの場合

ACDSee for Macを使用して、画像の表示・管理をすることができます。

1 「ACDSee for PENTAX」フォルダをダブルクリックする

2 「ACDSee for PENTAX」のプログラムアイコンをダブルクリックする

ACDSee 2 for Macを起動する

1 「アプリケーション」フォルダ内の「ACDSee」フォルダをダブルクリックする

2 「ACDSee 2 for Mac」アイコンをダブルクリックする

ACDSeeが起動し、ブラウザと呼ばれるメインウィンドウが開きます。

ACDSeeブラウザの構成

A **メニューバー**
様々なメニューコマンドにアクセスできます。

B **ツールバー**
頻繁に使われるタスクや機能へのショートカットにアクセスできます。

C **フォルダペイン**
ご使用のコンピュータのフォルダ構造が表示されます。フォルダ内を参照すると、その内容がファイル一覧ペインに表示されます。

D **プレビューペイン**
ファイル一覧ペインで現在選択されている画像、またはメディアファイルのプレビューが表示されます。プレビュー画像のサイズを変更したり、メディアファイルを再生することが可能です。

E **よく使う項目ペイン**
よく使う項目（フォルダなど）を登録することができます。

F **ファイル一覧ペイン**
現在選択されたフォルダの内容や、最後に行った検索結果（検索にマッチしたファイルやフォルダ）などが表示されます。このペインはブラウザ内で常に表示されるペインで、隠したり閉じることはできません。

G **ステータスバー**
選択したファイルの情報やプロパティが表示されます。

画像を見る

1 ACDSeeブラウザの「フォルダペイン」で、見たい画像が保存されているフォルダを選び、クリックする

「ファイル一覧ペイン」に、画像の一覧が表示されます。

2 「ファイル一覧ペイン」で、見たい画像を選びダブルクリックする

選んだ画像が「ビューア」で表示されます。
「ビューア」では、画像の拡大／縮小表示ができます。

ACDSee 2 for Macの詳しい使い方を調べる

ACDSee 2 for Macの詳しい使い方は、ヘルプで調べることができます。

1 メニューバーの「ヘルプ」から「ACDSeeヘルプ」を選ぶ

ヘルプ画面が表示されます。

2 調べたい項目をクリックする

8 付録

各撮影モードの機能対応

○：設定できます。　×：設定できません。

機能		AUTO PICT		P					
手ぶれ補正		○	×	○	○	○	×	×	○
顔認識オン		○	○	○	○	○	○	○	○
スマイルキャッチ									
顔認識オフ		×	○	○	○	×	×	○	○
まばたき検出		○	○	○	○	○	○	×	○
ストロボ	（オート）	○	○	○	×	○	○	×	○
	（発光禁止）	○	○	○	○	○	○	○	○
	（強制発光）	○	×	○	○	○	○	×	○
	（強制＋赤目）	○	×	○	○	○	○	×	○
ドライブモード	（標準）	○	○	○	○	○	○	○	○
	（セルフタイマー）	○	○	○	○	○	○	○	○
	（2秒セルフタイマー）								
	（連続撮影）	○	×	○	○	○	○	×	○
フォーカスモード	AF（標準）	○	○	○	○	○	○	○	○
	（マクロ）								
	PF（パンフォーカス）								
	（無限遠）	○	×	○	○	○	○	○	○
記録サイズ		○	×*1	○	○	○	×*2	○	○
AFエリア		×*4	×*4	○	○	○	○	○*5	○
感度		○	×*6	○	○	○	○	×*6	○
露出補正		×*7	×*7	○	○	○	○	○	○
ズーム		○	○*8	○	○	○	○	○*8	○
日付写し込み		○	×	○	○	○	○	×	○

*1　10M に固定
*2　3M に固定
*3　5M に固定

*4　[　]（マルチ）固定

7
付録

((人))	[パノラマ]	▮▮▮	撮影モード / 機能		参照ページ
×	×	×	手ぶれ補正		p.70
○	○	○	顔認識オン		p.61
			スマイルキャッチ		
○	○	○	顔認識オフ		
○	○	×	まばたき検出		p.58
○	○	○	⚡A（オート）	ストロボ	p.84
○	○	○	⚡禁止（発光禁止）		
○	○	○	⚡（強制発光）		
○	○	○	👁⚡（強制＋赤目）		
○	○	○	□（標準）	ドライブモード	—
○	○	○	セルフタイマー記号（セルフタイマー）		p.79
			2秒セルフタイマー記号（2秒セルフタイマー）		
○	×	×	連続撮影記号（連続撮影）		p.80
○	○	○	**AF**（標準）	フォーカスモード	p.86
			🌷（マクロ）		
			PF（パンフォーカス）		
○	○	○	▲（無限遠）		
×*3	×*2	×	記録サイズ		p.88
○	○*5	○	AFエリア		p.87
×*6	○	○	感度		p.91
○	○	○	露出補正		p.90
○*9	○	○	ズーム		p.67
○	○	○	日付写し込み		p.93

*5　自動追尾記号（自動追尾）不可
*6　オート固定
*7　±0.0固定
*8　インテリジェントズーム不可
*9　光学ズームのみ

メッセージ一覧

カメラを使用中に、画像モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

メッセージ	内容
電池容量がなくなりました	電池の残量がありません。新しい電池と交換するか、充電式電池の場合は充電器で充電してください。（p.27）
カードの空き容量がありません	SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください（p.31、p.119）。 撮影済み画像の記録サイズを変えると、保存できる可能性があります（p.130）。
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコン上では画像を表示またはコピーできる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています（p.152）。
内蔵メモリーがフォーマットされていません。	内蔵メモリーの内容が壊れています。内蔵メモリーをフォーマットしてください。
カードがロックされています	SD メモリーカードがライトプロテクトされています（p.33）。
圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質／サイズを変えて、もう一度撮影または保存してください。
画像がありません	SDメモリーカードに再生できる画像が保存されていません。
動画記録を中止します	動画撮影時にカメラ内部の温度上昇が限界を超えた場合に表示されます。
消去中です	画像を消去中に表示されます。
再生できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
フォルダが作成できません	最大のフォルダ番号（999）で最大のファイル番号（9999）が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください（p.152）。
プロテクトされています	プロテクトされた画像を消去しようとした場合に表示されます。
記録中です	画像がまだ記録中なのに、▶モードに切り替えたとき／プロテクト／DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録が終了したら表示が消えます。

メッセージ	内容
処理中です	画像処理などに時間がかかり5秒以上スルー画像が表示できないとき、またはSDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます
内蔵メモリーの空き容量がありません	ファイルを保存するときに、内蔵メモリーの空き容量がない場合に表示されます。
処理できる画像がありません	画像ファイルが1つもない場合に表示されます。
この画像を処理できません	実行できないファイルの場合に表示されます。
カードが入っていません	SDメモリーカードが挿入されていない場合に表示されます。
内蔵メモリーの空き容量が足りません 画像をコピーできません	コピーに必要な空き容量が内蔵メモリーに残っていない場合に表示されます。
正しく処理できませんでした	赤目補正処理に失敗した場合に表示されます。
内蔵メモリーに記録された画像を表示します	内蔵メモリー参照モードに移行した場合に表示されます。
カメラが高温になりました 電源をオフします	カメラ内部が高温になった際、強制的に電源をオフする場合に表示します。カメラを休ませ、温度が下がってから電源をオンにしてください。

PictBridge機能を使用する場合に、画像モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

メッセージ	内容
用紙が少なくなりました	接続したプリンターの用紙残量が少ない場合に表示されます。
用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起きた場合に表示されます。
インクが少なくなりました	接続したプリンターのインク残量が少ない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンターエラーです	接続したプリンターからエラーメッセージが送信された場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送信された場合に表示されます。

メッセージ	内容
接続エラーです プリンターを確認してください	PictBridge接続に失敗した場合に表示されます。
印刷中です	印刷実行中に表示されます。
印刷を終了しました 続けて印刷しますか？	印刷終了時に表示されます。
印刷を中止しました	印刷中止時に表示されます。
処理できる画像がありません	印刷対象となる画像がない場合に表示されます。
DPOF設定が正しくありません	DPOF指定印刷ができない場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。⊕⊖表示に従って電池を入れ直してください（p.27）。
	電池の残量がない	電池を充電してください。
画像モニターに何も表示されない	パソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、画像モニターは常にオフになります。
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、画像モニターは常にオフになります。
画像モニターの表示が見にくい	画像モニターの明るさが暗く設定されている	「🔧設定」メニューの「LCDの明るさ」で明るさを調整してください（p.163）。
	節電機能（エコモード）が働いている	節電機能が働いていると、一定時間操作しないときに、画像モニターの明るさが自動的に暗くなります。何かのボタン操作をすると、元の明るさに戻ります。「🔧設定」メニューの「エコモード」で「オフ」に設定することで、節電機能が働かないようにすることもできます（p.164）。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボ充電中は撮影できません。充電が完了すると撮影できます。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください（p.31、119）。
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	被写体までの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光が届く範囲で撮影してください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります（p.57）。
	AFエリアに被写体が入っていない	画像モニター中央のAFエリアに、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が⊛（発光禁止）になっている	オートまたは⚡（強制発光）に設定してください（p.84）。
	ドライブモードが連続撮影、フォーカスモードが▲、撮影モードが動画になっている	これらのモードではストロボは発光しません。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	USB接続モードが「PictBridge」になっている	カメラのUSB接続モードを「PC」に切り替えてください。（p.161）
プリンターとのUSB接続がうまくいかない	USB接続モードが「PC」になっている	カメラのUSB接続モードを「PictBridge」に切り替えてください（p.161）。

静電気などの影響により、まれにカメラが正しい動作をしなくなることがあります。このような場合には、電池を入れ直してみてください。入れ直してから再度、電源をオンにしてカメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。
各メニュー項目の中で、初期設定値があるものの表示内容を示します。

ラストメモリ設定

する　：カメラの電源をオフにしても現在の設定（ラストメモリ）が保存される
しない：カメラの電源をオフにすると初期設定に戻る
※　　：「する」／「しない」は「モードメモリ」(p.98) の設定による
―　　：該当なし

リセット設定

する　：リセット（p.167）で初期設定に戻る
しない：リセットしても設定が保存される
―　　：該当なし

●「撮影」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
手ぶれ補正		オート	する	する	p.70
記録サイズ		10M（3648×2736）	する	する	p.88
AFエリア		[ ]（マルチ）	する	する	p.87
感度		オート	※	する	p.91
露出補正		±0.0	※	する	p.90
動画	記録サイズ	640 30（640×480・30fps）	する	する	p.96
	Movie SR	☑（オン）	する	する	p.97
まばたき検出		☑（オン）	する	する	p.92
デジタルズーム		☑（オン）	※	する	p.68
モードメモリ	顔認識モード	□（オフ）	する	する	p.61
	ストロボモード	☑（オン）	する	する	p.84
	ドライブモード	□（オフ）	する	する	p.79 p.80
	フォーカスモード	□（オフ）	する	する	p.86
	ズーム位置	□（オフ）	する	する	p.67
	感度	□（オフ）	する	する	p.91
	露出補正	□（オフ）	する	する	p.90
	デジタルズーム	☑（オン）	する	する	p.68
	DISPLAY	□（オフ）	する	する	p.18
	ファイルNo.	☑（オン）	する	する	―

名称	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
日付写し込み	オフ	する	する	p.93

●「設定」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
サウンド	操作音量	3	する	する	p.153
	再生音量	3	する	する	
	起動音	1	する	する	
	シャッター音	1	する	する	
	操作音	1	する	する	
	セルフタイマー音	1	する	する	
日時設定	表示スタイル（日付）	初期設定による	する	しない	p.41 p.154
	表示スタイル（時間）	24h	する	しない	
	日付	2009/1/1	する	しない	
	時刻	初期設定による	する	しない	
ワールドタイム	時刻切替	（現在地）	する	する	p.157
	目的地（都市）	初期設定による	する	しない	
	目的地（夏時間）	□（オフ）	する	しない	
	現在地（都市）	初期設定による	する	しない	
	現在地（夏時間）	□（オフ）	する	しない	
Language/言語		初期設定による	する	しない	p.37 p.159
フォルダ名		日付	する	する	p.160
USB接続		PC	する	する	p.161
ビデオ出力		初期設定による	する	しない	p.162
LCDの明るさ		-・+	する	する	p.163
エコモード		5秒	する	する	p.164
オートパワーオフ		3分	する	する	p.165
リセット		キャンセル	—	—	p.167
全画像消去		キャンセル	—	—	p.166
フォーマット		キャンセル	—	—	p.152

● 再生モードパレット項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
スライドショウ	表示間隔	3秒	する	する	p.108
	画面効果	ワイプ	する	する	
	効果音	オン	する	する	
リサイズ	記録サイズ	元画像による	—	—	p.130
トリミング		元画像による	—	—	p.131
画像コピー		内蔵メモリー → SDカード	—	—	p.140
画像回転		正位置	—	—	p.110
デジタルフィルター		白黒	しない	—	p.133
フレーム合成		デフォルト1	する	する	p.137
赤目補正		—	—	—	p.136
プロテクト	1画像	画像による	—	—	p.123
	全画像	画像による	—	—	
DPOF設定	1画像	枚数：0枚	—	—	p.142
	全画像	日付：オフ	—	—	
お気に入り		再生	—	—	p.114
削除画像復活		キャンセル	—	—	p.122

● キーによる操作

名称		機能	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
▶ボタン		動作モード	▶モード	—	—	—
ズーム/♠♠♠/♠ボタン		ズーム位置	広角端	※	しない	p.67
十字キー	▲	ドライブモード	□（標準）	※	する	p.79 p.80
	▼	撮影モード	AUTO PICT（オートピクチャー）	する	する	p.59
	◀	ストロボモード	⚡A（オート）	※	する	p.84
	▶	フォーカスモード	AF（標準）	※	する	p.86
MENUボタン		メニュー表示	撮影モード：「📷メニュー」 再生モード：「🔧メニュー」	—	—	p.49
OK/DISPLAYボタン		情報表示	標準	※	する	p.18
顔認識ボタン		動作モード	顔認識オン	※	する	p.61

7 付録

都市名一覧

都市名：「初期設定」(p.37) やワールドタイム (p.157) で設定できる都市
ビデオ出力方式：「初期設定」で設定した都市のビデオ出力方式

地域	都市名	ビデオ出力方式
北米	ホノルル	NTSC
	アンカレジ	NTSC
	バンクーバー	NTSC
	サンフランシスコ	NTSC
	ロサンゼルス	NTSC
	カルガリー	NTSC
	デンバー	NTSC
	シカゴ	NTSC
	マイアミ	NTSC
	トロント	NTSC
	ニューヨーク	NTSC
	ハリファックス	NTSC
中南米	メキシコシティ	NTSC
	リマ	NTSC
	サンティアゴ	NTSC
	カラカス	NTSC
	ブエノスアイレス	PAL
	サンパウロ	PAL
	リオデジャネイロ	NTSC
ヨーロッパ	リスボン	PAL
	マドリード	PAL
	ロンドン	PAL
	パリ	PAL
	アムステルダム	PAL
	ミラノ	PAL
	ローマ	PAL
	コペンハーゲン	PAL
	ベルリン	PAL
	プラハ	PAL
	ストックホルム	PAL
	ブダペスト	PAL
	ワルシャワ	PAL
	アテネ	PAL
	ヘルシンキ	PAL
	モスクワ	PAL
アフリカ・西アジア	ダカール	PAL
	アルジェ	PAL
	ヨハネスブルグ	PAL

地域	都市名	ビデオ出力方式
アフリカ・西アジア	イスタンブール	PAL
	カイロ	PAL
	エルサレム	PAL
	ナイロビ	PAL
	ジッダ	PAL
	テヘラン	PAL
	ドバイ	PAL
	カラチ	PAL
	カブール	PAL
	マーレ	PAL
	デリー	PAL
	コロンボ	PAL
	カトマンズ	PAL
	ダッカ	PAL
東アジア	ヤンゴン	NTSC
	バンコク	PAL
	クアラルンプール	PAL
	ビエンチャン	PAL
	シンガポール	PAL
	プノンペン	PAL
	ホーチミン	PAL
	ジャカルタ	PAL
	香港	PAL
	北京	PAL
	上海	PAL
	マニラ	NTSC
	台北	NTSC
	ソウル	NTSC
	東京	NTSC
	グアム	NTSC
オセアニア	パース	PAL
	アデレード	PAL
	シドニー	PAL
	ヌーメア	PAL
	ウェリントン	PAL
	オークランド	PAL
	パゴパゴ	NTSC

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。（※）の製品は同梱品と同じものです。

● **電源関連**

ACアダプターキット K-AC62J
（AC アダプター D-AC62・DC カプラー D-DC51・AC コード D-CO2J）

● **ケーブル類**

USBケーブル I-USB7（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

● **ストラップ**

O-ST51（※）

O-ST24　本革を使ったレザーストラップです。

O-ST8　シルバーに輝くチェーンストラップです。

O-ST81　防水加工を施したストラップです。

● **カメラケース**

O-CC72

O-CC79

O-CC81

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	約1000万画素	
撮像素子	1/2.33型CCD	
記録画素数	静止画	10MH/10M（3648×2736）、7M（3072×2304） 5M（2592×1944）、3M（2048×1536） 2.1M（16：9）（1920×1080）、1024（1024×768） 640（640×480）（ピクセル）
	※ ベストフレーミング時は3M（2048×1536）固定 ※ 高感度時は5M（2592×1944）固定 ※ フレーム合成時は3M（2048×1536）固定 ※ パノラマ撮影時は1枚2M（1600×1200）固定 ※ 感度3200／6400設定時は5M（2592×1944）固定	
	動画	640 30（640×480・30fps）、640 15（640×480・15fps）、 320 30（320×240・30fps）、320 15（320×240・15fps） ピクセル
感度	オート、マニュアル（ISO 64～6400） ※高感度モード時はオート（64～6400）に固定	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2準拠）、DCF2.0準拠、DPOF対応、 PictBridge対応、PRINT Image Matching III対応
	動画	AVI（MotionJPEG準拠）、約30fps／約15fps（フレーム／秒）、PCM方式・モノラル音声付、フルカラー、Movie SR（動画手ぶれ補正）
記録媒体	内蔵メモリー（約34.8MB）、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード	

撮影枚数と時間
静止画

	内蔵メモリー	512MB
10MH 3648×2736	8枚	117枚
10M 3648×2736	16枚	228枚
7M 3072×2304	21枚	287枚
5M 2592×1944	26枚	355枚
3M 2048×1536	42枚	570枚
2.1M 1920×1080	61枚	839枚
1024 1024× 768	117枚	1590枚
640 640× 480	222枚	3022枚

- 撮影枚数は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影枚数は異なることがあります。

動画

	内蔵メモリー	512MB
640 30 640×480・30fps	33秒	7分31秒
640 15 640×480・15fps	1分5秒	14分48秒
320 30 320×240・30fps	53秒	11分59秒
320 15 320×240・15fps	1分41秒	22分53秒

- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。
- 動画は連続で内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱい、または大容量のSDHCカードを使用した場合は、最大で2GBまで撮影可能です。2GB撮影終了後に、再度撮影をし直すことで、引き続き2GBずつ、残りの容量を撮影することができます。

ホワイトバランス	オート	
レンズ	焦点距離	6.3～18.9mm （焦点距離の35mm換算値：約35～105mm相当）
	F値	F3.1（W）～F5.9（T）
	レンズ構成	5群6枚（非球面レンズ4枚使用）
光学ズーム	3倍	
インテリジェントズーム	7M（3072 × 2304）時 約3.5倍、640（640 × 480）時 約17.1倍（光学ズームと合わせたズーム倍率）	
デジタルズーム	最大約5.7倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約17.1倍ズーム相当のズーム倍率）	
手ぶれ軽減	静止画	撮影時電子手ぶれ補正、 高感度ぶれ軽減モード（高感度）
	動画	電子式（Movie SR）
画像モニター	広視野角2.4型 約11.2万ドットLCD	

7 付録

再生機能	1コマ、インデックス（4画面、9画面）、拡大（最大10倍まで、スクロール可）、顔アップ再生、フォルダ表示、カレンダー表示、選択消去、スライドショウ、リサイズ、トリミング、画像コピー、画像回転、デジタルフィルター、動画再生、フレーム合成、赤目補正、プロテクト、DPOF、削除画像復活、お気に入り	
フォーカスモード	オートフォーカス、マクロ、パンフォーカス、無限遠	
フォーカス	方式	9点AF（マルチ／スポット／自動追尾切替可）
	フォーカス範囲	標準　：0.4m～∞（広角時） 0.6m～∞（望遠時） マクロ　：0.1m～1.0m（広角時） ※ 遠景、パンフォーカス切替可 ※ 顔認識中のみ、顔認識AF可
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
露出制御	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割）
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
顔認識	最大32人まで認識可（画像モニターに表示される顔認識枠は最大15個）、スマイルキャッチ、まばたき検出	
撮影モード	オートピクチャー、プログラム、夜景、夜景ポートレート、ベストフレーミング、動画、風景、花、ポートレート、サーフ＆スノー、スポーツ、高感度、キッズ、夕焼け、ペット、料理、フレーム合成、パノラマ、グリーン ※顔認識中のみ、顔認識AE可	
デジタルフィルター	白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄、明るさ	
動画	連続録画時間	約1秒～内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱいまで（ただし最大で2GBまでの制限あり）
シャッタースピード	1/2000～1/4秒、最長4秒	
内蔵ストロボ	発光モード	自動発光、発光禁止、強制発光、強制発光＋赤目軽減
	調光範囲	広角時　約0.1～5.0m （感度オートの条件において） 望遠時　約0.6～2.7m （感度オートの条件において）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影（約10秒後、約2秒後）、連続撮影	
セルフタイマー	電子制御式、制御時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム	世界75都市に対応（28タイムゾーン）
電源	単3形電池2本（アルカリ、リチウム、ニッケル水素充電池）、ACアダプターキット（別売）	
電池寿命	撮影可能枚数 約210枚	※ 撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA規格抜粋：画像モニター ON、ストロボ使用率50％、23℃）
	再生時間 約480分	※ 時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。
	動画撮影時間 約110分	
外部インターフェイス	USB 2.0（ハイスピード対応）／PC/AV端子	
ビデオ出力方式	NTSC／PAL（モノラル音）	

PictBridge	対応プリンター	PictBridge対応のプリンター
	印刷モード	1画像印刷、全画像印刷、DPOF印刷
	用紙サイズ指定	カード、L、2L、ハガキ、100mm×150mm、4"×6"、8"×10"、レター、11"×17"、A4、A3、プリンター設定
	用紙タイプ指定	★★★、★★、★、プリンター設定
	印刷品質設定	★★★、★★、★、プリンター設定
	ふち指定	あり、なし、プリンター設定
外形•寸法	約97.5(幅)× 60(高)× 23.5(厚)mm(操作部材、突起部を除く)	
質量(重さ)	本体約110g(電池、SDメモリーカード含まず) 約160g(電池、SDメモリーカード含む)	
主な付属品	単3形アルカリ電池(2本)、USBケーブル、AVケーブル、ソフトウェア(CD-ROM)、ストラップ、使用説明書、保証書	

索引

記号

数字

A

D

L

M

N

O

P

S

た行

な行

は行

ま行

や行

7 付録

ら行

わ行

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（離島など、一部の地域を除く）どこからでも電話一本でペンタックス指定の宅配業者がお客様ご指定の日時・場所に梱包資材を持って不具合品を引き取りにお伺いし、専門修理スタッフが修理を行って、お客様ご指定の場所に完成品をお届けするサービスです。

電話受付

0120-97-0405（フリーダイヤル）
受付時間：　平日　8:00～21:00
土・日・祝日・年末年始　9:00～18:00

[宅配便・郵便による修理受付、修理に関するお問い合わせ]
PENTAX イメージング・システム事業部
東京サービスセンター

03-3975-4341（代）
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
ペンタックス 流通センター内
営業時間：　9:00～17:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

PENTAX イメージング・システム事業部
大阪サービスセンター

06-6271-7996（代）
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9　パールビル2階
営業時間：　9:00～17:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.jp/**

[PENTAX イメージング・システム製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター **ナビダイヤル　0570-001313（代）**
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS および IP 電話の方は、右記の電話番号をご利用ください。 **☎03-3960-3200**

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間　9：00 ～ 18：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・修理受付]
ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**

〒 163-0690　東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル MB（中地下 1 階）

営業時間　10:30 ～ 18:30

休業日　毎週火曜日、年末年始およびビル点検日

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属しています CD-ROM と弊社ホームページから登録が可能です。

HOYA 株式会社
PENTAX イメージング・システム事業部
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

53453
H01-200902
Printed in China